

運営指導調査団
(平成 12 年 8 月)
報告書

本編

第 1 章 調査団派遣概要

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

本年 3 月の調査団派遣中に第 1 フェーズサイトがマオイストに襲撃された事を受け、以下の経緯をもってプロジェクトの継続が決定された。

(1) 安全確認調査団の調査結果概要

安全確認調査団が 4 月に派遣され、本プロジェクトについての対応は以下のとおり。

- 1) 青年海外協力隊は、他の安全な地域への配置転換を行い、サイトへの再派遣は行わない。
- 2) 派遣専門家はポカラ常駐とし、サイトへの調査・指導等は行わず、専門家の出張に替えて、C/P に対するポカラ事務所における研修・訓練を行うことによりプロジェクトを継続実施する。また、ポカラ事務所、専門家住居に対する巡回警護の強化を「ネ」側に強く申し入れる。
- 3) C/P のサイトへの派遣については、その安全にも配慮しつつ派遣方法等につき「ネ」側と十分協議を行いつつ、派遣の可否を決定する。
- 4) サイト事務所が攻撃対象になったことに鑑み、サイト事務所は閉鎖する。

(2) プロ技の継続にかかる要員の活動範囲

安全確認調査団の調査結果を踏まえ、JICA の安全配慮義務につき、法務室等に確認した結果プロジェクトの関係者の活動範囲は以下のとおりとする。

P/J 関係者	活動範囲	備考
JICA 専門家	全ての活動はポカラのみ。日帰りのサイト訪問もしない。	
JICA 雇用の NGO (M/P チーム) 及び MD チーム	日本人専門家の活動と同じ基準により取り扱う。	日本人専門家と区別した基準の作成は、法的にも道義的にも不可。
モチベータ	先方政府の雇用で先方政府の責任と指示の下に活動する場合は、活動の制限はない。	JICA 専門家が実質的に業務指示を行うことは控える。
C/P	先方政府の本来業務の範囲内で先方政府の責任と指示の下に活動する場合は、活動の制限はない。	

なお、上記の活動範囲については、治安状況が大きく改善され、大使館、ネパール事務所及び安全管理課がサイトの安全を確認した場合にのみ見直しを行う。

上記、プロジェクト関係者の活動範囲を踏まえ、プロジェクト体制の変更事業につきプロジェクト及び先方実施機関と協議し、1999 年 7 月に署名された R/D の修正をするとともに、PDM、PO の承認等にかかる協議内容をミニッツにまとめ署名を行うことを目的に派遣された。

1 - 2 調査団構成

団長 狩野 良昭（JICA 森林・自然環境協力部長）
 参加型流域管理 嶋崎 省（林野庁経営企画課）
 計画管理 小林 花（JICA 森林環境協力課ジュニア専門員）

1 - 3 調査団日程

平成 12 年 8 月 19 日～26 日 8 日間

日順	月日（曜日）	行 程
1	8 月 19 日（土）	移動（成田 バンコク）
2	8 月 20 日（日）	移動（バンコク カトマンズ）
3	8 月 21 日（月）	土壌流域管理局打ち合わせ 森林土壌保全省打ち合わせ JICA ネパール事務所打ち合わせ 日本大使館打ち合わせ 移動（カトマンズ ポカラ）
4	8 月 22 日（火）	カスキ郡・パルバット郡土壌保全事務所長打ち合わせ 移動（ポカラ クスマ） パルバット郡郡開発委員長と打ち合わせ 移動（クスマ ポカラ）
5	8 月 23 日（水）	カスキ郡郡開発委員長と打ち合わせ 移動（ポカラ カトマンズ） 日本人専門家と打ち合わせ
6	8 月 24 日（木）	合同調整委員会 ネパール事務所報告
7	8 月 25 日（金）	移動（カトマンズ バンコク）
8	8 月 26 日（土）	移動（バンコク 成田）

1 - 4 主要面談者

(1) ネパール政府関係者

Mr. Rabi B.Bista, Secretary, MFSC

Mr. Sharad K.Rai, Planning Officer, MFSC

Mr. Mohan Prasad Wagley, Director General, DSCWM, MFSC

Mr. Prakash Regmi, DSCO Kaski, MFSC

Mr. Ramesh Baral, DSCO Parbat, MFSC

Mr. Sarad Babu Pageni, Mid-level Technician, DSCO Kaski

Mr. Shiv Shankar Shah, Mid-Level Technician, DSCO Kaski

Mr. Yam Prasad Pandey, Mid-Level Technician, DSCO Kaski

Mr. Prakash Thapa, Mid-Level Technician, DSCO Kaski

Mr. Bishun Dev Yadav, Mid-Level Technician, DSCO Kaski

Mr. Hari Bahadur Yonzan, Mid-Level Technician, DSCO Parbat

Mr. Binay Kumar Jha, Mid-Level Technician, DSCO Parbat

Mr. Ganesh Bhandari, Mid-Level Technician, DSCO Parbat

(2) 郡開発委員会

Mr. Punya Poudel, Chairman, District Development Committee, Kaski

Mr. Ganesh Timilsina, Chairman, District Development Committee, Parbat

(3) 日本大使館

家元 書記官

(4) JICA ネパール事務所

長谷川 所長

矢部 次長

殿川 所員

(5) 長期専門家

桂川 裕樹	(プロ技専門家 : チーフアドバイザー)
一方井真紀	(プロ技専門家 : 調整員)
星 陽子	(プロ技専門家 : 社会・ジェンダー)
武田 義昭	(プロ技専門家 : 流域管理)
平林 淳利	(プロ技専門家 : 村落振興)
小田 康子	(個別派遣専門家 : 協力隊チーフアドバイザー)

第2章 調査結果総括

ネパール村落振興・森林保全計画 運営指導調査団は8月20日から8月25日までネパールを訪問し、森林土壌保全省次官をはじめ、土壌保全流域管理局並びにその傘下の現場のカスキ郡・パルバット郡土壌保全事務所の関係者、両郡の郡開発委員会議長及び専門家、JICA 事務所、在ネパール日本大使館と意見交換を行った。3月に発生したマオイストグループの襲撃事件により、必要となった計画の変更及び一層の治安に対する配慮についてネパール政府関係者と協議した内容はR/D、M/Mに取り纏め、8月24日の合同調整委員会にて署名された。調査の概要は次のとおりである。

(1) 昨年7月にフェーズ2が開始されて以来、日本人専門家チームは土壌保全流域管理局の両郡の土壌保全事務所と精力的に取り組み方を検討してきた。その中で双方によって確認されたアプローチは3月のマオイストグループの襲撃事件により日本側の協力方法が：

- 1) 緑の推進協力計画の青年海外協力隊員は、他の安全な地域への配置転換を行い、サイトへの再派遣は行わない。
- 2) 日本側が雇用しているスタッフ（NGO）についても安全配慮義務が生じることから契約を取りやめる。
- 3) 日本人専門家は現場の村落への立ち入りを行わない。

という大幅な変更を余儀なくさせられたにもかかわらず、プロジェクトの基本的アプローチは変更することなく、限られた範囲内で最も現実性のある計画策定を進め、それらは、Operational Guideline として纏められた。(参考資料3) この検討過程の中で、専門家チームは頻繁に打ち合わせを重ね、ネパール側関係者はフェーズ1プロジェクトの成果を教訓として、一層 ownership の自覚を強化し、主体的に取り組む姿勢が顕著になった。このことは、土壌保全事務所での打ち合わせや、郡開発委員会議長のプロジェクトへの期待の表明の中で確認された。

(2) 調査団は、全ての関係者との打ち合わせの中で、日本人専門家の安全について一層の配慮を要請すると同時に、日本側が専門家の安全配慮に重大な関心を持っていることを強調した。3月以降は、プロジェクト協力対象地域ではマオイストの活動は見られないが、例年雨季には活動が低調となるのが一般的と言われており、今後の動向を注意深く見守る必要がある。

本年秋には、安全確認調査団の派遣が計画されているところ、調査結果を踏

まえ、今後とも安全には十分配慮したプロジェクト実施が望まれる。現場関係者との意見交換、現地調査を通じて、調査団は、情勢が沈静化しており、専門家、ネパール側関係者には心理的圧迫感は今のところ大きくないような感触を得た。協力対象地域の情報のみならず、ネパール政府とマオイストグループとの和解の動き、他の地域でのマオイストの動向など、マクロ的視点での分析を踏まえた安全確認調査団の調査結果を待ちたい。

(3) 専門家チームが、ネパール関係者と協議を重ね策定したフェーズ2協力の進め方について調査団として印象深かった点を特筆する。

1) プロジェクトの現場の実施主体の単位を、フェーズ1時の Users' Group から集落保全委員会(WCC: Ward Conservation Committee)としたこと。Users' Group の存在意義はサブ・プロジェクトの終了によって消滅することが多いが、行政の最小単位である WCC は、継続して ward が直面する問題に対応していく組織であり、住民自らが、将来の集落の望ましい状態を考える基礎を強化することになる。

2) JICA が契約した NGO の活用を中止し、土壤保全事務所が雇用するモチベータを各村に2名ずつ配置する事にしたこと。この変更によって土壤保全事務所の関わりが、体制的にもしっかり整備され、カウンターパートである土壤保全事務所のスタッフのプロジェクトへの ownership の自覚が高まった。

3) Ward 当りに投下する予算が、フェーズ1では一律20万ルピーであったが、フェーズ2では10万ルピーから30万ルピーの範囲とし、ward の世帯数サイズに対応して柔軟に対応することとした。このことによりフェーズ1では結果的に一世帯当たり約4000ルピーの予算を投下していたが、フェーズ2では2500ルピーと減額された。この変更により、ネパール政府が、1994年以降地方分権化政策の一環として押し進めている1VDC 当り50万ルピーを交付する政策(1ward 当りに平均換算すると3年間で約20万ルピー)とほぼ類似の規模となったことから、協力終了後、本協力で得られた経験、教訓がネパールの既存の政策に円滑に活用される可能性が高まることとなった。

4) フェーズ1では、非優遇的な扱いを受けている住民が主体的に村落資源管理に参加出来るよう、これら住民に対して能力向上のための活動を行っていたが、フェーズ2においても、POWER プログラム(Poor people, Occupational caste and Women's Empowerment for Resource management)という特別なプログラムを実施することになっている。南西アジア諸国にお

いても、ネパールは女性の平均寿命が男性を下回る唯一の国で、しかも、その寿命は 57.6 才と短い。このことは、女性が厳しい環境に置かれていることを表している。

ネパール政府も、公選によって選ばれる 5 名の地方自治組織委員のうち 20% を女性や非優遇的な扱いを受けている住民への特別席として割り当てており、POWER プログラムの実施を通して、ネパール政府の押し進めているジェンダー指針を更に強化し、女性や非優遇的な扱いを受けている住民が主体的に村落資源管理に参加出来るようになることを期待したい。

- (4) 昨年 4 月、パリで開催されたネパール国援助国会議 (Nepal Development Forum) において、ネパール政府は、貧困削減に向けた住民参加型のプロジェクトを行なうための貧困軽減基金 (PAF: Poverty Alleviation Fund) を提唱した。また、世銀及び IMF は国家開発戦略の中の貧困削減に焦点を絞った、貧困削減戦略ペーパー (PRSP: Poverty Reduction Strategy Paper) に基づく協力を考えている。本プロジェクトは貧困削減を上位目標として、住民参加のもと地方行政組織を活用し、プロジェクトを推進していく等、その目的、手法等は類似しており、本プロジェクトの実施を通じてネパール国の第 9 次国家 5 年計画、PAF 戦略の実施に対し、支援の強化の役割を果たすこととなると思われる。今後は本プロジェクトの成果を積極的にネパール政府各機関及び援助機関に啓蒙するように努め、それらの機関との意見交換を通じて本プロジェクトで確立される手法がネパール山間部地域において貧困軽減のためのモデル事例を提案する存在になることを期待したい。また、このことにより、山間の住民と密接に関わる森林土壌保全省及びそのカウンターパートが貧困軽減と国家戦略の一翼を担い、重要な役割を果たしているという自覚が強化されることを期待したい。

第3章 プロジェクト活動状況及び問題点

3 - 1 各協力分野の進捗状況

2000 年 3 月のマオイストによる襲撃事件の結果を踏まえ、この間のプロジェクト活動としては、対象村落における活動の停止、対象村落に設置したサイト事務所などの閉鎖・撤収、JOCV 及び NGO の離脱など組織の組み替えなどの措置を進める一方、新たなスキームの検討、C/P 機関などとの打ち合わせ、必要な研修・訓練を実施してきたところである。今回の合同調整委員会の開催における、R/D の修正、M/M の取り決め、PDM、PO の承認をへて対象村落での活動開始などプロジェクトの再開となる。

(1) 流域管理分野

主要な活動内容としては、1) CBWMP、CRMP、AAP 作成の支援、2) 流域管理関連の研修・訓練の企画・実施等である。

1) CBWMP、CRMP、AAP の作成の支援

資源管理のための見通し (CBWMP)、村落資源管理計画 (CRMP)、年間活動計画 (AAP) は、WCC が主体となって、DSCO 中堅技術者及びモチベータのサポートを受けて立案され、VDC、DDC の意見を聞いた上で承認される。WCC は住民とともに、村落全体の資源状況を把握し、現在の問題点を認識するとともに望ましい将来の姿を描き、そのために達成すべき中期的課題 (緊急度、現実性、受益者数などから判断) として CRMP を立案し、これに基づいて単年の事業を実施していく。流域管理分野の専門家としては、今後、WCC の設立とともに、プロジェクト活動を通じて WCC と住民に対して OJT の形で支援することとなる。

2) 流域管理関連の研修・訓練の企画・実施

カスキ郡・パルバット郡の DSCO 中堅技術者を対象に技術訓練を実施し、事業積算、監督、検査などの実務訓練を行うとともに、今後の中堅技術者の役割について意見交換を行っている。

また、MD チーム (多分野にわたる支援をするチーム) を構成員となるエンジニアを採用、研修旅行及び訓練を実施し、新体制下の事業を今後どの様に進めるか相互に確認しつつ、今後サイトでの活動が円滑に進むようにしている。

(2) 社会・ジェンダー分野

主要な活動内容としては、1) POWER プログラムの総括、2) 社会ジェンダー関連訓練・研修の企画・実施等である。

1) POWER プログラムの総括

貧困層、職業カースト、女性など非優遇的な取り扱いを受けている住民の能力向上を図るための特別プログラムであり、具体的な事業としては、女性に限った、成人識字教室及び収入向上（生活改善）事業を行うこととしている。これら事業をへて、非優遇的な取り扱いを受けている住民が村落資源管理に主体的に参加ができるようにし、公正で持続的な資源管理を実現して行くとするものである。

2) 社会ジェンダー関連訓練・研修の企画・実施

モチベータ及び新任 DSC0 中堅技術者に対するジェンダー研修を実施し、社会・ジェンダーに関する基礎知識を深めている。

(3) 村落振興分野

主要な活動内容としては、住民参加型アプローチの計画・実施、地方自治体との連携、NGO、CBO との連携にかかる企画調整などである。

プロジェクトの再開に向けた準備として、DSC0 職員と協議の上、今年度、来年度の研修・訓練計画の作成、マニュアルの整備を進めている。また新 Operational Guideline の作成及び地方行政機関を含む全プロジェクト関係者への説明会の計画・実施を行っている。さらにモニタリング計画・実施要領のまとめを行っている。

(4) 各種研修・訓練計画の実施

本年5月以降、MD チーム研修、モチベータに対する住民参加型活動の入門研修、モチベータ及び新任 DSC0 中堅技術者に対するジェンダー研修、モチベータへの報告書作成訓練、中堅技術者に対する事業積算、監督、検査等実務訓練と、村人と直接に接するスタッフの能力・見識向上のための研修訓練を実施してきている。これら研修等において、C/P である DSC0 職員は、研修・訓練に係る企画、準備、実施、評価の各段階に積極的に参画しており、自らの能力を高めようとするなど主体的な取組が見られるようになってきている。

3 - 2 専門家派遣計画

長期専門家の派遣は、社会・ジェンダー及び流域管理分野の専門家が交代し、全専門家が揃った。カウンターパートのオーナーシップを強化する観点からプロジェクト後半での長期専門家の減員を検討する必要があることから、村落での活動が一サイクル終了する 2001 年夏頃に見直しを行う。

3 - 3 供与機材

村落での活動が中心であることから、カウンターパートの村落での活動を支援する機材となる。第 1 フェーズ後半からパソコンで各事業の見積りを行っており、ネパールでは修理等が困難な Mac 機から Windows 機への切り替えを行っている。

本年度の供与機材は：

デスクトップ コンピュータ	6 台
レーザープリンタ	3 台
ラップトップ コンピュータ	6 台
インクジェット	3 台
UPS	6 台
カメラ	2 セット
測量用機材	2 セット
製図用機材	6 セット
四輪駆動車	1 台

3 - 4 研修員受け入れ計画

研修員受け入れについては、各専門分野の長期専門家とも相談し、個々のケースごとに検討し良質な研修になるよう配慮している。本年度の研修員は以下の分野で受け入れ予定である。

村落振興	Mr.Hari Bahadur Yonzan	2000 年 8 月19 日～10 月13 日
社会・ジェンダー	Mr.Bidar Nath Sapkota	2000 年10 月 1 日～11 月18 日
流域管理	Mr.Hari Bhadra Acharya	2000 年 8 月13 日～11 月 5 日

3 - 5 ローカルコスト負担

緑の推進協力計画の終了に伴い、JICA 負担経費はプロ技予算に一本化する。なお、従来はプロジェクト雇用であったモチベータ 20 名については、7 月より土壤保全流域管理局雇用となった。

3 - 6 その他

先方実施機関、プロジェクト双方からプロジェクトのスタートが遅れた分、１年間の延長要請があったが、現時点でプロジェクトの延長を判断出来る時期にはないことから、中間評価・終了時評価時に延長又はフォローアップの実施について検討を行うこととする。

第4章 ネパール側のプロジェクト実施体制

4-1 カウンターパートの配置状況

2000年8月現在のカウンターパート及び他のスタッフの配置状況は下記の表のとおり。

カウンターパート配置状況

Position	Kaski	Parbat	Total
Officer			
District Soil Conservation Officer	1		1
Assistant Soil Conservation Officer	1		1
Mid-level Technician			
Civil Overseer	3	2	5
Soil Conservation Assistant (Forest)	3	3	6
Soil Conservation Assistant/Junior Technician (Agriculture)	1	2	3
Supporting Staff			
Motivator	10	10	20
Woman's Motivator		1	1
Administrative Assistant	2	1	3
Junior Administrative Assistant	1	1	2
Computer Operator	1		1
Driver	3	2	5
Peon	4	3	7
合 計	30	25	55

※ ParbatのDistrict Soil Conservation Officerは近く配置(前任者は今年4月に日本に国費留学生として派遣)

※ ParbatのForest Assistant (1) 及びKaskiのWoman's Motivator (1)については、既に配置されているMid-level Technicianの中から近く任命される見込み

(参考:事前調査団派遣時 [Mar. 1999] の状況)

Position	Kaski	Parbat	Total
Officer			
District Soil Conservation Officer	1	1	2
Assistant Soil Conservation Officer	1		1
Mid-level Technician			
Civil Overseer	4	2	6
Soil Conservation Assistant (Forest)	2	1	3
Soil Conservation Assistant/Junior Technician (Agriculture)	2	1	3
Supporting Staff			
Administrative Assistant	1		1
Junior Administrative Assistant			
Computer Operator	1	1	2
Driver	2	1	3
Peon	3	1	4
合 計	17	8	25

1999 年 3 月事前調査団派遣時に比べて、DSCWM の予算で雇用されることとなったモチベータ（2000 年 7 月より）を除いても、25 名から 35 名に増員されているほか、全土壤保全省職員でも数名しかいないと言われている、女性の中堅技術者がカスキ郡へ配置されることとなっているなど、相手国政府の当該プロジェクト活動に対する理解が一層深まりつつあり、また主体的な取組み姿勢が見られるようになっている。

なお、現在空席になっているパルバット郡のオフィサーについては 2000 年 8 月中に配置される見込みとのことである。

4 - 2 中央政府及び郡等との連携状況

（1）地方自治体（郡、村）との連携

ネパール政府では、今後のネパールにおける開発への取組について貧困削減に焦点を絞り、その取組の中で地方分権化を中心的な課題としており、特に地方の郡、村落レベルでの事業の計画、実施管理等を彼らの主導の下で進めていくことが極めて重要であるとしている。1995 年から実施されている UNDP による参加型郡開発支援プログラムでは、村開発事業を支援することにより住民組織を形成するとともに、事業を効果的に運営管理するために DDC、VDC を組織強化し、地方分権化を通じ、貧困削減の支援を行っている。DDC、VDC については、組織機構、スタッフなどまだ十分なものと言えないが、このようなプロジェクト等の実施を通じて、かなりの権限が付与されるようになっている。

プロジェクトとしては、今回の事件に対する措置にあたり、事業の停止、組織・体制の変化、今後の取組などについて、DDC、VDC に対し説明し理解を求めたり、新たなスキームの概要についても説明し、今後の事業展開に当たり、C/P 機関、JICA、地方自治体で進めていくことについて理解を求めるなど、地方自治体との連携を図っている。また治安面での情報を入手する上でも地方自治体との関係を密にすることが一層必要となっている。

今後、DDC、VDC との日常的な連絡・協調を維持していくことがより一層重要となっている。

（2）中央政府との連携

プロジェクトの C/P 機関である森林土壤保全省（MFSC）土壤保全流域管理局（DSCWM）では、これまで JICA 負担であったモチベータの雇用経費を日本からの支援である KR II Fund を活用して支出するなど、プロジェクトに対する主体的な取組が見られ、ネパール側のオーナーシップを醸成させつつ、プロジェ

クトを円滑に推進していく上で今後とも、合同調整委員会等を通じて、連携強化に努めていくことが重要である。

また、郡における他の政府機関についても、POWER プログラムにおける成人識字教室の実施にあたり、講師派遣、教材作成にかかる教育・文化・社会福祉省出先機関からの支援、農業、畜産業など森林・林業以外の他分野における事業実施に当たっては、技術面での支援として農業研修などを行うこととしているが、そのために農業省など出先機関からの応援が必要であり、これら出先機関との連携も今後、住民からのニーズに基づいて、図っていくこととしている。

第5章 ネパール側との協議結果

5 - 1 今後のプロジェクト運営

先方実施機関関係者、JICA 派遣専門家、JICA ネパール事務所、国内委員と検討を重ね、今後のプロジェクト体制を以下のとおりすることとし、本協議結果をミニッツに纏めた。

(1) プロジェクト支援内容

1) ターゲット・グループ

第2フェーズで選定された10村についてはマオイスト襲撃以前に情報普及活動が開始されており、村落住民のプロジェクトへの期待も高まっているため、対象村落は変更しない。

2) 基本的アプローチ

「住民自らが限られた予算の下、村落全体の資源を総合的に管理するための中期的な計画の立案・実行・評価」及び「女性及び社会的弱者への事業の参画の推進」という基本的なアプローチは変更しない。但し、WCC や POWER グループの組織化、CRMP や AAP の作成、事業の立案・実施・評価等サイトでの活動を DSCO 職員及び住民が行うことに鑑み、具体的な手順・手法については、プロジェクト活動をととしてカウンターパート及び住民の実施能力を見極めつつ柔軟に変更していく。

3) 汚職防止

今回の改定案では、当初の計画より村落における事業費を減額することとするが、プロジェクト対象地以外の地域と比較すると比較的高額な投入が行われることとなる。JOCV、NGO 等が不在となることよりサイトでの監視能力の低下、しいては汚職・不正が発生する恐れもある。従って、不正があった場合の厳しい罰則規定の設定、事業費執行状況の徹底した情報公開等、汚職・不正を防ぐシステム作りを講ずることとする。

4) モニタリング

プロジェクトサイトにおける計画の立案・実施・評価について、資源管理やジェンダー等の面から成果、進捗、問題点を的確に把握し、専門家が適切な助言・技術指導を行える様、土壤保全省技術者、モチベータ、WCC（ワード保全委員会）より定期的に月報を提出させる等をもって、体系的なモニタリングを行う。

5) DDC (郡開発委員会)、VDC (村開発委員会) との連携強化

第 1 フェーズ当初と比較すると、地方行政もかなり機能しており、プロジェクトへの期待も高いことから、DDC、VDC との連携を強化することで事業の定着を図る。

(2) 投入

【人的投入】

1) 専門家の配置

カウンターパートのオーナーシップを強化する観点からプロジェクト後半での長期専門家の減員を検討する。村落での事業が一サイクル終了する 2001 年夏頃に減員対象分野を選定する。

2) NGO との契約解消

6 月末をもってネパール赤十字社カスキ支部と契約は解消済。

3) DSCO 中堅技術者

従来通り各村に 1 名ずつ担当者を配置し、村落におけるプロジェクト側の責任者の立場に立って、モチベータと共に村での活動を行う。

4) モチベータ

7 月より DSCWM の予算で 20 名 (1 村 2 名ずつ) 雇用する。

5) M/D チーム (多分野専門チーム)

プロジェクト後方支援グループとして JICA 予算で Field Coordinator, Engineer 及び POWER Coordinator を各 2 名ずつ 6 名雇用する。フィールドには入らないが、DSCO 中堅技術者、モチベータ、WCC 等に対してトレーニングや技術支援を行う。

【協力期間】

6) プロジェクト期間

現時点でプロジェクトの延長を判断出来る時期にはないことから、中間評価・終了時評価時に延長又はフォローアップの実施について検討を行う。

【予算】

7) 現地業務費

緑の推進協力計画の終了に伴い、JICA 負担経費はプロ技予算に一本化する。

8) 予算額の減額

JOCV、NGO が抜けた後の事業費の管理体制を考慮し、各ワードの予算を世帯当たり Rs.4000 から Rs.2500 へ減額することにより、事業の質の確保を図

る。また、一事業あたりの予算額の上限は 30 万ルピー、下限は 10 万ルピーとする。

第 1 フェーズではネパール政府の一村落あたりの開発予算の 4 倍近い予算が毎年プロジェクトから投入されていた。上記の減額措置により、プロジェクトからの各村落への投入額は 1 年間におよそ 60 万ルピーになると見込まれている。これらは開発予算が 50 万ルピーであることから、本プロジェクトの目標である住民自身による総合的村落資源管理のモデル開発がより持続可能な形で実施可能となると考えられる。

(3) 安全確保のための措置

1) プロジェクトサイトの閉鎖

プロジェクトサイト事務所は全て閉鎖済みであり、村役場より執務スペースを提供される予定。

2) 無線の撤去

固定式無線機は撤去し、拡充済みの携帯及び車載無線機、既設電話回線、飛脚等の総合的活用により全体の連絡体制を構築する。

3) 地方自治体との連携

地方自治体との連携を強化し、情報の収集に努めると共に、安全が損なわれると判断された場合は速やかにプロジェクトを撤退する旨の覚書を DDC、VDC と取り交わす。

4) 専門家の警備

警察による専門家住居への巡回パトロールの強化を依頼する。

5) 夜間業務

専門家、JICA 雇用スタッフの夜間業務を原則禁止する。

5 - 2 R/D の修正、M/M の署名

プロジェクトの改定に伴う、R/D の修正内容は：

- ・青年海外協力隊チーム派遣、緑の推進協力プロジェクト（ ）の撤退
- ・専門家の安全確保の要請
- ・合同調整委員会（JCC）より NGO を削除

また、上記 5 - 1 の対処方針をまとめた M/M（案）の主な変更点及び協議事項は以下のとおりである。

- ・プロジェクト開始の前提条件として、「治安状況が大きく変化される」と言う

表現を“drastically”あるいは“dramatically”を用いる予定であったが、先方より単語の表現が強いことから“becomes normal”を使用したいと申し入れがあった。専門家等より「治安が大きく変化する状況」については既に説明済みであり、最終的な判断はJICA事務所及び日本大使館が行う事になっている為、先方の希望どおりとした。

- ・プロジェクトの透明性の確保について、プロジェクトでは“Public Information Act”と言う表現を通常業務で使用しているが、“Act”は法律的なニュアンスが強い事から、“public information activities”を使用することとした。

5 - 3 PDM 及び P0

PDM、P0 については、本年3月の運営指導調査の際に作成したものを、今回のプロジェクトの改定に伴い、先方実施機関関係者及びJICA派遣専門家と見直した結果、指標の数値目標のみ削除することとした。（参考資料2）モニタリング・評価計画書（実績記入表、評価項目）については、現時点では作成する事ができなかったことより、近日中に、先方及び専門家で作成することとなった。

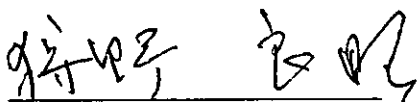
資料編

**RECORD OF DISCUSSIONS
OF THE SUPPLEMENTARY PROVISION
OF THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE COMMUNITY DEVELOPMENT AND FOREST/WATERSHED
CONSERVATION PROJECT PHASE II**

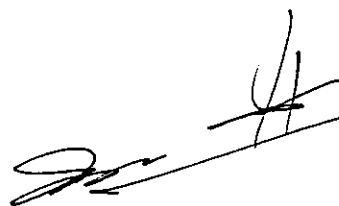
The Japanese Management Consultation Team organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshiaki KANO and authorities concerned of the Department of Soil Conservation, Ministry of Forests and Soil Conservation of His Majesty's Government of Nepal (hereinafter referred to as "HMG") had a series of discussions covering wider range of issues, where both governments agreed on to take up appropriate measures to counter security threats in order to implement the Community Development and Forest/Watershed Conservation Project Phase II successfully in the Kingdom of Nepal.

As a result of the discussions, both sides agreed to amend as indicated hereto the document attached to the Record of Discussions concerning the Project, signed in Kathmandu on July 13, 1999.

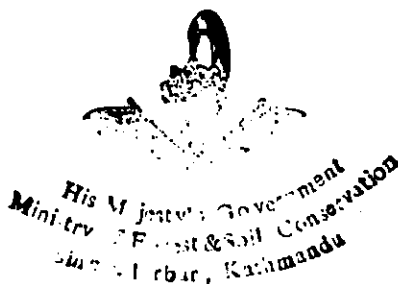
Kathmandu, August 24, 2000



Mr. Yoshiaki Kano
Managing Director
Forestry and Natural Environment Department
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Sharad K. Rai
Chief
Planning and Human Resources Division
Ministry of Forests and Soil Conservation
His Majesty's Government of Nepal



ATTACHED DOCUMENT

- I. In the part entitled "I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS", 3 will be deleted due to termination of the Greenery Promotion Cooperation Project Phase II.
- II. In the part entitled "III. MEASURES TO BE TAKEN BY HIS MAJESTY'S GOVERNMENT OF NEPAL", the following will be added.

His Majesty's Government of Nepal will take necessary measures to ensure the security of the project offices referred to in Annex V, and the Japanese experts referred to in Annex II-1 above and their families, and all other concerned people of the project.

- III. In the part entitled "ANNEX VI. JOINT COORDINATING COMMITTEE", representative of NGOs concerned will be deleted from the Nepalese side members.

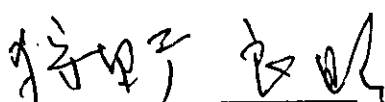


**THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN JICA MANAGEMENT CONSULTATION TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE KINGDOM OF NEPAL
ON MANAGEMENT OF SECURITY PROBLEMS, PROJECT DESIGN MATRIX,
AND PLAN OF OPERATION
OF THE COMMUNITY DEVELOPMENT AND FORESTRY/WATERSHED
CONSERVATION PROJECT PHASE II**

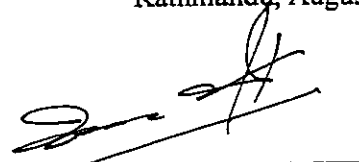
The Japanese Management Consultation Team organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshiaki KANO and authorities concerned of the Department of Soil Conservation, Ministry of Forests and Soil Conservation of His Majesty's Government of Nepal (hereinafter referred to as "HMG") had a series of discussions on management of security problems, and agreed upon the issues as shown in the Attachment I.

Based on the agreement, both teams jointly prepared Project Design Matrix (hereinafter referred to as "the PDM") and Plan of Operation (hereinafter referred to as "the PO") as shown in Attachment II. These plans prepared by both teams can be modified in the framework of the R/D, if they required some modification of the plans on the implementation stage.

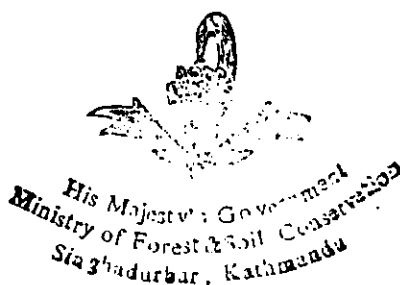
Kathmandu, August 24, 2000



Mr. Yoshiaki Kano
Managing Director
Forestry and Natural Environment Department
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Sharad K. Rai
Chief
Planning and Human Resources Division
Ministry of Forests and Soil Conservation
His Majesty's Government of Nepal



ATTACHMENT I

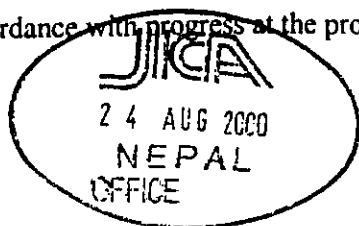
1. Precondition to resume the Project activities

Following the incident in March 2000, JICA dispatched the Security Assessment Team to find out the security condition in Nepal. Based upon the recommendation of the Team, JICA and HMG had decided to resume the project under the following conditions.

- 1) All Japanese experts and project staff employed by JICA will be based at Pokhara or at places where JICA Nepal Office and Japanese Embassy permits them to visit until security situation becomes normal.
- 2) Greenery Promotion Cooperation Project Phase II will be terminated. JICA also will not contract with the Non Governmental Organization that provides the Social Organizers.
- 3) Only counterparts will carry out field activities in the target villages under the responsibilities and directions of District Soil Conservation Office (hereinafter referred to as "DSCO") and Department of Soil Conservation and Watershed Management (hereinafter referred to as "DSCWM"). In addition, DSCWM will employ 2 (two) motivators in each target Village Development Committee (hereinafter referred to as "VDC"), who will support Mid-level technicians particularly in the field-based activities.

2. Basic approach

Despite of the above conditions, basic approach of the Project will remain the same, with strong ownership and commitment by Nepalese side. Namely, the Project continues to assist villagers to plan, implement and evaluate their own community resource management plan within limited budget, through paying appropriate attention to equal benefits and equal involvement of underprivileged people. Detail procedures, such as establishment of Ward Conservation Committee and POWER Group and formulation of Community Resource Management Plan and Annual Action Plan, would be flexible in the implementation stage in accordance with progress at the project sites.



A handwritten signature in black ink.



3. Transparency of the activities

In order to secure the transparency and openness of the Project among all stakeholders, the Project will implement public information activities. The activities include notice board, suggestion box, and crosscheck of information in meeting and so on.

4. Appropriate supervision and inspection

For the appropriate supervision and inspection, Japanese experts and DSCO will establish systematic monitoring system in the field, such as by submission of monthly report, document inspection and regular meetings.

5. Partnership with local governance bodies

By strengthening partnerships between the Project and local governance bodies such as District Development Committee, VDC and ward, effectiveness and sustainability of the Project will be consolidated.

6. Long-term experts

JICA and HMG will review the number of Japanese long-term experts in mid-2001.

7. Project Period

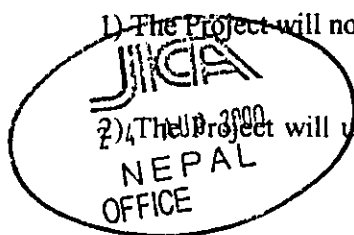
JICA and HMG will review the possibility to extend the term of cooperation or to carry out the follow-up phase either at mid-term evaluation or at final evaluation.

8. Safety Measures

The Project will take following measures to ensure the security of the project staff:

1) The Project will not establish Site Offices.

2) The Project will utilize communication devices such as portable wireless, automobile



His Majesty's Government
Ministry of Forest & Soil Conservation
JICA Building, Kathmandu

A handwritten signature in black ink.

wireless, phone and messenger to establish emergency communication network.

3) The Project will avoid night work at Project Headquarters.

4) HMG will reinforce the patrol to the Project Headquarters in Pokhara and Japanese experts' residents.

5) The Project will make agreement with local governance bodies for counteraction against dangerous situation.



ATTACHMENT II

PDM: The Community Development and Forest/Watershed Conservation Project (Phase II)

Term of Cooperation: 16, Jul. 1999 - 15, Jul. 2004 (5 years)

Japanese implementing agency: JICA

Prepared by: JICA Experts, JOCV, DSCOD/DSCWM and the Project staff

Counterpart agency: DSCWM (Ministry of Forestry and Soil Conservation)

Target area: Kaski and Parbat District (10 VDC, 88 WARD), The Kingdom of Nepal

Target group: DSCO counterparts (officers and midlevel technicians) and rural people in target area

Date: 24 August 2000

Narrative Summary		Objectively Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumptions
<p>[Overall Goal]</p> <p>Poverty is alleviated and the natural environment is improved in hill areas in Nepal through active management of community resources by the people (both men and women).</p> <p>[Project Purpose]</p> <p>A model, which is applicable in hill areas in Nepal, of participatory community resources management on an equitable and sustainable basis with active involvement of the people in its process of planning, implementation, monitoring and evaluation is developed.</p> <p>[Output]</p> <p>1. The people in the target areas in Kaski and Parbat Districts increase their capabilities in:</p> <p>a. Organizing and managing their groups.</p> <p>b. Planning, implementing, monitoring and evaluating community resources management on a sustainable basis, and</p> <p>c. Managing community resources on an equitable basis.</p> <p>2. Counterparts increase their capabilities in:</p> <p>a. Developing Community Based Management Prospects, and</p> <p>b. Implementing participatory community resources management projects in hill areas adopting/adapting the model developed by the Project.</p> <p>[Activities]</p> <p>1-a. To organize, strengthen and monitor Ward Conservation Committees.</p> <p>1-b. To facilitate design, implementation, monitoring and evaluation of Community Resources Management Plans and Annual Action Plans.</p> <p>1-c. To integrate gender and equity consideration into the development process of the Project</p> <p>2-a. To develop Community Based Watershed Management Prospects with participation of the people</p> <p>2-b. To develop by JICA counterparts in implementing participatory community resources management projects. AUG 2000</p>	<p>1. Income of the hill area</p> <p>2. Drop out ratio at schools</p> <p>3. Condition/situation of disaster damage in hill areas</p> <p>4. Forest coverage/situation of hill areas</p> <p>1. Number of self-reliant WCC</p> <p>2. Number of model activity started in other areas by DSCOD/DSCWM</p> <p>3. Number of requested and accepted proposal to other agencies from WCC</p> <p>1-a. Establishment of WCC</p> <p>Submission of Monthly Report</p> <p>Well administrated WCC</p> <p>1-b. CRMP and AAP formulation</p> <p>Completion of sub-</p> <p>1-c. Share of Female member in WCC</p> <p>UGs exclusively organized by Female and/or OC</p> <p>Representation of women/OC in</p> <p>2-a. CBWMP formulation</p> <p>2-b. CRMP and AAP formulation</p> <p>Completion of sub- Useful guidelines/training/ materials for replication</p> <p>[Inputs]</p> <p><Nepal side> HMG</p> <p>1. Counterparts and administrative personnel</p> <p>2. Land, Buildings and Facilities</p> <p>3. Operational costs necessary for implementation</p> <p><Japanese side> JICA</p> <p>1. Long-term expert (6)</p> <p>a. Chief Adviser</p> <p>b. Coordinator</p> <p>c. Community Development</p> <p>d. Watershed Management</p> <p>e. Gender and Equity</p> <p>f. JOCV Chief Adviser</p> <p>2. Short-term expert</p> <p>3. C/P Training in Japan</p> <p>4. Equipment Provision</p> <p>5. Local cost expenditure</p>	<p>1. Reports and statistics of DDC</p> <p>Statistics and Census data of CBS</p> <p>2. Statistics of DEO</p> <p>3.,4 Statistics of DSCWM, MoFSC</p> <p>1. Another new CRMP planned by WCC</p> <p>2. Records at DSCOD/DSCWM</p> <p>3. Records of proposals based on CRMP</p> <p>1-a. Regulation and member list of WCC</p> <p>WCC monthly report</p> <p>Mid-level Technician monthly report</p> <p>1-b. CRMP & AAP</p> <p>Completion & account report from WCC</p> <p>Inspection report from DSCO</p> <p>Self evaluation report from WCC</p> <p>1-c. WCC member list</p> <p>UGs member list</p> <p>Minutes of meeting from WCC</p> <p>2-a. CBWMP</p> <p>2-b. Paper output</p>	<p>1. HMG keeps policy for natural environment and poverty in hill area.</p> <p>1. HMG adopts/promotes the model developed by the Project</p> <p>2. Nepalese national economy continues growing</p> <p>3. Population increase in Nepal is decelerated</p> <p>4. DSCWM adopts/promotes the model.</p> <p>1. Counterparts are not transferred outside of target area frequently.</p> <p>2. DSCWM continues to adopt the participatory approach.</p> <p>1. Security condition in the target area is not aggravated</p> <p>2. Villagers understand and actively collaborate with the Project continuously.</p>	<p>[Pre-condition]</p> <p>1. The DDC of Kaski and Parbat, target VDC, and the people in target Ward accept the project</p>

NEPAL
OFFICE

Ministry of Forestry and Soil Conservation
Kathmandu

Plan of Operation (for whole period): CDFWCPII

No.	Activity	Target	Schedule (Japanese Fiscal Year)																Responsible Person in Project Team	Input	Remarks						
			1999				2000				2001				2002							2003					
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV									
1-a	To organize, strengthen and monitor User Groups (UGs) and Ward Conservation Committees (WCCs)																										
1-a-1	To facilitate formation of User Groups (UGs) and Ward Conservation Committees (WCCs)	bc formation in 10 VDC (88 Ward)																									C/P, LEC, LEG, LEW, MLT
1-a-2	To facilitate establishment of a group fund for each WCC	Funding of WCC																									C/P, LEC, SE, MLT
1-a-3	To organize institution/capacity building activities for UGs and WCCs	Training/Guidance for WCC																									C/P, LEC, SE, MLT
1-a-4	To monitor the activities of WCCs and provide necessary assistance in follow-up	Follow-up Monitoring																									C/P, LEC, SE, MLT
1-b	To facilitate design, implementation, monitoring and evaluation of Community Resources Management Plans and Annual Action Plans.																										
1-b-1	To confirm social/gender/natural conditions of VDCs	Base-line Data Collection and Analysis																									C/P, LEC, LEG, LEW, MLT
1-b-2	To facilitate Community Resource Workshops in each Ward	Community Resource Work Shop in each Ward																									C/P, LEC, LEG, LEW, SE, MLT
1-b-3	To facilitate preparation of Community Resource Management Plan (3 years) in each Ward	CRMP Formation																									C/P, LEC, LEW, SE, MLT
1-b-4	To facilitate preparation of Annual Action Plans	AAP Formation																									C/P, LEC, LEW, SE, MLT
1-b-5	To facilitate implementation and monitoring of Annual Action Plans	Sub-project Implementation and Monitoring																									C/P, LEC, LEW, SE, MLT
1-b-6	To facilitate evaluation of Annual Action Plans and feedback to the next Annual	Self-evaluation of WCC																									C/P, LEC, LEW, SE, MLT
1-c	To integrate gender and equity consideration into the development																										
1-c-1	To integrate gender and equity consideration into the whole process of the project activities and the Operational Guidelines	Gender and Equity Mainstreaming																									C/P, LEC, LEG, LEW, SE, MLT
1-c-2	To organize programs to raise awareness of counterparts (C/Ps) toward gender and equity issues	Training and Guidance for C/P																									C/P, LEG, SE, MLT
1-c-3	To organize programs to raise awareness of people toward gender and equity issues	POWER Program																									C/P, LEG, SE, MLT

No.	Activity	Target	Schedule (Japanese Fiscal Year)																Responsible Person in Project Team	Input	Remarks					
			1999				2000				2001				2002							2003				
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV								
2-a	To develop Community Based Watershed Management Prospects with participation of the people																									
2-a-1	To develop and implement methods of quick survey on natural and social conditions in target villages	Quick Survey Method																								
2-a-2	To prepare the Community Based Watershed Management Prospects	CBWMP																								
2-b	To develop the capabilities of counterparts in implementing participatory community resources																									
2-b-1	To develop capacity of C/Ps through their participation in project activities	OJT for C/P																								
2-b-2	To organize training programs, seminars and workshops for C/Ps	Training, Seminar, Workshop, Study Tour																								
2-b-3	To provide C/Ps with opportunities to participate in training programs (both inside and outside Nepal), seminars and workshops organized by other institutions	Training, International Seminar, Workshop, Technical Exchange																								
2-b-4	To analyze and compile case studies	Case Study Report																								
2-b-5	To prepare and improve Operational Guidelines	Operational Guideline																								

PM: Project Manager, CAA: Chief Adviser-JICA, CAV: Chief Adviser-JOCV

LEG: Long-term Expert (Community Development), LEG: Long-term Expert (Gender and Equity), LEW: Long-term Expert (Watershed Management)

SE: Short-term Expert, MLT: Mid-level Technician


Aug 2000

CBWMP: Community Based Watershed Management Prospect, CRMP: Community Resource Management Plan, AAP: Annual Action Plan, OJT: On the Job Training

POWER POP: A special program for poor people, Occupational caste and Women's Empowerment for Resource management

Remark of "Input" : Car, Radio and Personal Computer will be used for all activities.

: Mid-level Technician in each VDC


His Majesty's Government of Nepal
Ministry of Forest & Soil Conservation
Singadurbar, Kathmandu

Operational Guideline Ver.2

Table of Contents

Foreword.....	3
Acronym	4
Terminology.....	6
1 Goal and Purpose.....	9
1.1 Overall goal	9
1.2 Outputs/objectives of the Project.....	9
1.2.1 Facilitation Through Mid-level Technician	9
2 Key Concepts.....	9
2.1 Participatory Approach.....	10
2.2 Integrated Community Resource Management	10
2.3 Empowerment.....	10
2.4 Gender and Equity.....	11
2.5 Coordination with Local Governance Bodies.....	11
2.6 Field-Oriented Approach.....	11
2.7 Collaboration with NGO/CBO	12
3 Scope of the Project.....	13
3.1 Target area.....	13
3.2 Target group	13
3.3 Target Sub-project.....	13
3.4 Budget	14
3.4.1 Support from the Project and exception for the first year.....	14
3.4.2 Cost estimation and cost sharing between the Project and the people.....	15
3.4.3 Exceptional case for POWER program	15
3.5 Political Neutrality.....	16
4 Organization	17
4.1 Mother organization	17
4.1.1 DSCO and JICA	17
4.1.2 DDC.....	17
4.1.3 VDC.....	17
4.1.4 Ward	17
4.2 Functional organization	18
4.2.1 Project H.Q.	18
4.2.2 Mid-level Technician.....	18
4.2.3 MD Team.....	18
4.2.4 Motivator	18
4.3 Conference/Meeting	18
4.3.1 Joint Coordination Committee.....	19
4.3.2 Project Management Meeting.....	19
4.3.3 Monthly Meeting	19
5 Training	20
6 Operation Procedure.....	20
6.1 Motivator-employment.....	21
6.2 Information collection and dissemination	21
6.3 Secureness of paper work place at the target VDC	21
6.4 Community resource workshop.....	22
6.5 Special Consideration for POWER Group	22
6.6 WCC formation	23
6.7 POWER Group Formation	23
6.8 Exception for WCC formation	24
6.9 CBWMP formulation	24
6.10 CRMP formulation	25
6.11 Adjustment of CRMP.....	25
6.12 Sub-project feasibility study/design/cost estimation	25
6.13 AAP formulation	26
6.14 CRMP/AAP approval.....	27

6.15	Agreement/Contract between the Project and WCC	27
6.16	Delegation of Authority for Supervision and Inspection	27
6.17	Sub-project implementation	28
6.18	Monitoring and support	28
6.18.1	Monitoring for WCC / Overall Activity	28
6.18.2	Monitoring for Sub-project Implementation	29
6.19	Procedure of inspection and payment	30
6.20	Public Information Act	31
6.21	Evaluation	31
6.22	Procedure for 2nd/3rd year	31
6.23	Follow-up	32
7	Budget reduction	32
7.1	Reduction caused by delay of agreement conclusion with WCC on activities based on CRMP and AAP	32
7.2	Reduction caused by default of contracted works	33
7.3	Exception for POWER Program	33
8	Termination of the activity	33
8.1	Termination of the activity	33
8.2	Exception for POWER program	33
9	Amendment	34
10	Special note on security	34
10.1	In the event that Mid-level Technician will judge the situation dangerous	34
10.2	In the event that one of the following incidents occur	34
10.3	In the event, that one of DSCO Kaski, DSCO Parbat, JICA chief adviser and JOCV chief adviser will judge the situation dangerous.	35

Foreword

This Operational Guideline describes key concepts, regulations, and other basic principles of the package project (16. July 1999 – 15. July 2004), which consists of HMG/JICA Community Development and Forest/Watershed Conservation Project Phase II with the objective of contributing to the field activity.

In view of the Phase I experiences, the Operational Guideline of the Phase II aims at:

- Providing a practical guideline for the field activity, and
- Formulating a common platform for all project staff in effective and efficient implementation of the Project.

This Guideline shall be revised continuously when and where appropriate to reflect learning from the actual operations of the Project. Such continuous revision is indispensable for improvement of the Guideline to be a reference for all other projects with the same purpose in the hill area of Nepal.

We would like to express our sincere gratitude to all the parties concerned in developing this Guideline.

प्राक्कथन

यो निर्देशिकाले श्री ५ को सरकार/जाइका सामुदायिक विकाश तथा वन/जलाधार संरक्षण आयोजना दोश्रो चरण (१६ जुलाई १९९९ - १५ जुलाई २००४) को कार्यक्रमको स्थलगत क्रियाकलापहरूलाई ध्यानमा राखी यस आयोजनाका मूलभूत अवधारणा, नियमहरू एवं आधारभूत सिद्धान्तहरूको व्याख्या गर्दछ ।

प्रथम चरणको अनुभवलाई हृदयंगम गरी दोश्रो चरणको लागि तयार गरीएको यो निर्देशिका मुख्य रूपमा निम्न बुँदाहरूमा केन्द्रित छ :-

- स्थलगत रूपमा गरिने क्रियाकलापलाई प्रयोगात्मक रूपमा निर्देशित गर्ने ।
- आयोजनालाई प्रभावकारी एवं सशक्त रूपमा कार्यान्वयन गर्न सम्पूर्ण आयोजनासंग आवद्ध व्यक्तिहरूको लागि साझा धरातलको निर्माण गर्ने ।

यो निर्देशिकालाई अनुभवको आधारमा आवश्यकता अनुसार परिमार्जित गर्दै लगिनेछ । समान उद्देश्यले नेपालको पहाडी क्षेत्र कार्यरत अन्य परियोजनाहरूलाई समेत सहयोग पुग्ने (लाभदायी) हुनाले यस निर्देशिकाको नियमित परिमार्जन आवश्यक छ ।

हामी यो निर्देशिका तयार पार्न सहयोग गर्नु हुने सम्बन्धित सबै प्रति हार्दिक कृतज्ञता प्रकट गर्दछौ ।

Acronym

शब्दावली

JICA	Japan International Cooperation Agency जापान अन्तराष्ट्रिय सहयोग नियोग
HMG	His Majesty's Government, Nepal श्री ५ को सरकार, नेपाल
DSCWM	Department of Soil Conservation and Watershed Management भू-संरक्षण तथा जलाधार व्यवस्थापन विभाग
DSCO	District Soil Conservation Office/Officer जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालय/अधिकृत
WRFD	Western Regional Forest Directorate पश्चिमाञ्चल क्षेत्रिय वन निर्देशनालय
DFO	District Forest Office जिल्ला वन कार्यालय
CDO	Chief District Officer प्रमुख जिल्ला अधिकारी
RPO	Regional Police Office क्षेत्रीय प्रहरी कार्यालय
DPO	District Police Office जिल्ला प्रहरी कार्यालय
DDC	District Development Committee जिल्ला विकास समिती
VDC	Village Development Committee गाँउ विकास समिती
Ward	Smallest local governance body तल्लो तहको स्थानिय स्वायत्त निकाय
Tole	Natural small community सानो समुदाय
CDFWCPII	Community Development and Forest/Watershed Conservation Project Phase II सामुदायिक विकास तथा वन/जलाधार संरक्षण परियोजना दोश्रो चरण
The Project	CDFWCPII सा.वि.ह.आ. सामुदायिक विकाश तथा हरियाली आयोजना

The Development Study

विकास अध्ययन

*Development Study on Integrated Watershed Management in the Western Hills of Nepal
(Nov.1995 - Oct. 1997)*

The R/D

Record of discussion between Japan International Cooperation Agency and Authorities concerned of His Majesty's Government of Nepal on Japanese technical cooperation for The Community Development and Forest/Watershed Conservation Project Phase II

CBO

Community Based Organization

समुदायमा आधारित संस्था

NGO

Non-governmental Organization

गैर सरकारी संस्था

OJT

On the Job Training

कार्यगत तालिम

Terminology

शब्दावली

Community Resource

सामुदायिक श्रोत

Community resource refers to all available resources in the community such as:

- Natural resource, e.g. forest, land, and water.
- Artificial (man-made) resource, e.g. farmland, livestock and community infrastructure
- Human resource, i.e. people in the community.

Thus, community resource is not restricted to those supported by the Project.

सामुदायिक श्रोत भन्नाले समुदायमा उपलब्ध सबै श्रोतहरूलाई जनाउँछ । जस्तै :

- प्राकृतिक श्रोत : वन जंगल, पानी, जमीन
- कृत्रिम श्रोत (मानव निर्मित) : खेतीयोग्य जमिन, पशुपालन, सामुदायिक पूर्वाधार
- मानवश्रोत : सामुदायिक मानिसहरू

त्यसैले, सामुदायिक श्रोत आयोजनाद्वारा गरिने सहयोगको दायरा भित्र मात्र सिमित रहने छैन ।

Community Based Watershed Management Prospect (CBWMP)

समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा (स.आ.ज.व्य.धा.)

CBWMP refers to prospects for VDC and Ward based resource management, prepared based on the Development Study data and information/willingness from the people in the community; it consists of comprehension of resources' present condition and their desirable future.

समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणाले गा.वि.स. एवं वडा स्तरीय श्रोत व्यवस्थापनलाई जनाउँदछ जुन विकास मुलक अध्ययनका तथ्याङ्कहरू, सूचनाहरू एवं समुदायका सदस्यहरूको तत्परतामा तयार पारिन्छ । यसमा श्रोतहरूको वर्तमान अवस्था एवं यसको आशतीत भविष्य पनि समावेश हुन्छ ।

Community Resource Management Plan (CRMP)

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना (सा.श्रो.व्य.यो.)

CRMP is a mid-term (in principle, for the duration of three years) plan of community resource management with specific and pragmatic activities only, prepared based on CBWMP at Ward level.

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एउटा वडा स्तरीय समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा अन्तर्गत तयार पारिने मध्यवर्ती (सैद्धान्तिक रूपले तीन वर्षे) सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना हो । यसमा परिणामदायि, व्यवहारिक एवं स्पष्ट क्रियाकलापहरू उल्लेख गरिन्छ ।

Annual Action Plan (AAP)

वार्षिक कार्य योजना (वा.का.यो.)

AAP is a detailed annual action plan, based on CRMP.

In this Guideline, "annual (year)" refers to a period specified in AAP. Thus it is neither a calendar year nor fiscal year.

वार्षिक कार्य योजना, सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा आधारित एउटा विस्तृत वार्षिक कार्य योजना हो । यो निर्देशिकामा "वार्षिक" (वर्ष) भन्नाले वार्षिक कार्य योजनामा उल्लेख गरिएको एउटा समय सीमालाई जनाउँछ । त्यसैले यो न त क्यालेण्डर वर्ष हो न त आर्थिक वर्ष नै ।

Ward Conservation Committee (WCC)

वडा संरक्षण समिति (व.सं.स.)

WCC, which is organized at Ward level, administers all the Project activities in the Ward: the Ward members shall be the core members of WCC.

आयोजनाका कार्यक्रमहरूलाई संचालन गर्नको लागि वडा स्तरमा व.सं.स.को गठन गरिन्छ जसमा वडा सदस्यहरू मुख्य सदस्यको रूपमा रहन्छन् ।

Users' Group (UG)

उपभोक्ता समूह (उ.स.)

UG is a people's group established to implement sub-project(s) based on AAP. It belongs to WCC.

वार्षिक कार्य योजनामा आधारित सह-योजनालाई कार्यान्वयन गर्न गठन गरिएको मानिसहरूको समूहलाई उपभोक्ता समूह भनिन्छ । यो संबन्धित वडा संरक्षण समितिको मातहतमा रहन्छ ।

Sub-project

सह-योजना

Sub-project refers to a variety of activities, based on CRMP and AAP, and implemented by UG under WCC administration, with support from the Project.

सह-योजना भन्नाले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनामा आधारित विभिन्न क्रियाकलापलाई जनाउँदछ जसलाई आयोजनाको सहयोगमा व.सं.स.को व्यवस्थापन अन्तर्गत उपभोक्ता समूहद्वारा कार्यान्वयन गरिन्छ ।

Participatory Approach

सहभागितात्मक प्रक्रिया

Participatory approach involves encouragement from the Project to the people in the community; it promotes people's independent action on sustainable community resource management with them as stakeholders, utilizing their own knowledge, ability, labor, local material and fund.

सहभागितात्मक प्रक्रियामा आयोजनाद्वारा समुदायका सदस्यको उत्साह वृद्धि गर्ने, श्रोतहरूको दिगो व्यवस्थापनका लागि मुख्य सरोकारवालाको रूपमा आत्मनिर्भरता बढाउने एवं सदस्यहरूको ज्ञान, क्षमता, श्रम, स्थानीय श्रोत साथै कोषको उपयोग गरी सहभागी बनाउने कार्यलाई प्राथमिकता दिइन्छ ।

Empowerment

सशक्तिकरण

Empowerment is a support to increase people's capacity in various aspects, with the objective that such support will encourage people's independent action for community resource management.

सशक्तिकरण अभियान समुदायका सदस्यहरूको विविध पक्षमा क्षमता वृद्धि गर्ने गरिने सहयोग हो । यस्तो सहयोग सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनको निमित्त आत्मनिर्भरता बढाउन उत्साह वृद्धि गर्ने उद्देश्यले गरिएको हुन्छ ।

Project Headquarters (Project H.Q.)

आयोजना मुख्य कार्यालय

The Project H.Q., located in Pokhara, consists of DSCO and JICA Experts, will carry out the overall Project management and support for the field activities.

पोखरामा अवस्थित आयोजना मुख्य कार्यालयमा जिल्ला भू-संरक्षण अधिकारीहरू एवं JICA का विशेषज्ञहरू रहन्छन् जसले आयोजनाको सम्पूर्ण व्यवस्थापन कार्य र स्थलगत क्रियाकलापलाई सहयोग गर्ने छन् ।

Remark: While establishing a participatory community resource management model through project experience falls under the responsibility of the Project H.Q., focus of this Guideline is centered on practical usefulness, hence excludes such topic.

Mid-level Technician

मध्यम स्तरीय प्राविधिक

A Mid-level Technician from DSCO, located at each target VDC, will monitor and promote all field-based activities of the Project.

आयोजनाका सम्पूर्ण स्थलगत क्रियाकलापहरूको अनुगमन एवं प्रवर्धन प्रत्येक लक्षित गा.वि.स.मा रहने एक जना जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालयका मध्यम स्तरिय प्राविधिकद्वारा गरिने छ ।

Motivator

उत्प्रेरक

The Project employed 2 Motivators (in principle) from each target VDC, who will work with the Mid-level Technician.

आयोजनाले प्रत्येक लक्षित गा.वि.स.मा दुई जना (सैद्धान्तिक रूपले) उत्प्रेरक राख्ने छ जसले मध्यम स्तरिय प्राविधिकसंग कार्य गर्ने छन् ।

Multi-disciplinary Team (M/D Team)

एम/डि टिम

MD Teams, located in Pokhara and Kusma, will support Mid-level Technicians of Kaski and Parbat district respectively, by providing multi-disciplinary assistance.

MD Teams will be divided into 2 "Field-based Team" and 2 "Office-based Team".

Each Field-based Team, which will consist of a Forest Assistant and a Woman's Motivator, will support their field activity. Assistant Soil Conservation Officer from DSCO Kaski will join the both teams to strengthen Teams' capacity.

Each Office-based Team, which will consist of a Field Coordinator, an Engineer and a POWER Coordinator, will support them from Pokhara and Kusma.

पोखरा एवं कुश्मामा रहने एम/डी टिमले विविध पक्षहरूमा कास्की एवं पर्वतका मध्यम स्तरिय प्राविधिकलाई सहयोग गर्ने छन् । एम/डी टिमलाई स्थलगत समूह एवं कार्यालय समूह गरी दुई समूहमा विभाजन गरिने छ । प्रत्येक स्थलगत समूहमा एक जना वन सहायक र एक जना महिला उत्प्रेरक रहने छन् जसले स्थलगत क्रियाकलापमा सहयोग पुऱ्याउने छन् । कास्की जिल्लाका सहायक भू-संरक्षण अधिकृतद्वारा दुवै समूहको क्षमता अभिवृद्धि गर्न सहयोग गरिनेछ । प्रत्येक कार्यालयगत समूहमा एक जना फिल्ड संयोजक, एक जना इन्जिनियर एवं एक जना पावर संयोजक रहने छन् ।

Consideration for Gender and Equity

लैङ्गिक समानतामा जोड

Special consideration for Gender and Equity is extended to all the activities of the Project with the objective of assisting active participation of socio-culturally underprivileged people (i.e. poor people, occupational caste, and women) in community resource management.

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनमा समाजिक एवं साँस्कृतिक रूपले विपन्न वर्गको सकृय सहभागिता गराउने उद्देश्यले आयोजनाका सम्पूर्ण क्रियाकलापमा महिला एवं लैङ्गिक समनताका सम्बन्धमा विशेष ध्यान पुऱ्याइने छ । विपन्न वर्ग भन्नाले गरिब, पेशागत जाती एवं महिलालाई जनाउने छ ।

POWER Program

पावर कार्यक्रम

POWER Program is a special capacity building program for underprivileged people with the objective of assisting their active participation in community resource management.

पावर कार्यक्रम, सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनमा विपन्न वर्गको सकृय सहभागिता गराउन उनीहरूको क्षमता अभिवृद्धि गर्ने एउटा विशेष कार्यक्रम हो ।

1 Goal and Purpose

लक्ष्य तथा उद्देश्य

1.1 Overall goal

लक्ष्य

Poverty is alleviated and the natural environment is improved in hill areas in Nepal through active management of community resources by the people (both men and women).

महिला एवं पुरुष दुवैको सहभागितामा सामुदायिक श्रोतको उचित व्यवस्थापन गरी नेपालको पहाडी क्षेत्रको प्राकृतिक बातावरणमा सुधार एवं गरिवी निवारण यस आयोजनाको प्रमुख लक्ष्य हो ।

1.2 Outputs/objectives of the Project

उद्देश्य

The people in the target areas in Kaski and Parbat districts increase their capabilities in:

- Organizing and managing their groups,
- Planning, implementing, monitoring and evaluating community resources management on a sustainable basis and,
- Managing community resources on an equitable basis.

कास्की एवं पर्वत जिल्लाहरूका लक्षित क्षेत्रका जनताहरूले निम्न कुराहरूमा आफ्नो क्षमता अभिवृद्धि गर्नेछन् :

- समूह संगठन एवं व्यवस्थापन गर्ने
- सामुदायिक श्रोतको व्यवस्थापन दिगो रूपले गर्नको निमित्त योजना तर्जुमा, कार्यान्वयन, अनुगमन एवं मूल्याङ्कन गर्ने
- समानताको आधारमा सामुदायिक श्रोतको व्यवस्थापन गर्ने ।

1.2.1 Facilitation Through Mid-level Technician

मध्यम स्तरीय प्राविधिकद्वारा सहयोग

The Mid-level Technician will facilitate the following process with active participation by community men and women of different social groups in the two districts:

- To identify problems and needs of their own community
- To set up and carry out plans for community resources management, and through which,
- To build their capacity of planning, implementing, monitoring and evaluating such activities by their own efforts

With these activities, the Mid-level Technician will advocate and promote community development based forest, soil and watershed conservation.

कास्की एवं पर्वत दुई जिल्लाहरूमा विभिन्न सामाजिक समूहहरूका महिला एवं पुरुषको सकृय सहभागिताद्वारा निम्न क्रियाकलाप सम्पन्न गर्न मध्यम स्तरीय प्राविधिकले सहयोग गर्नेछन् :

- समुदायको समस्या एवं आवश्यकताको पहिचान गर्ने ।
- सामुदायिक श्रोतको व्यवस्थापनका लागी योजना तर्जुमा एवं कार्यान्वयन गर्ने जसद्वारा,
- आफ्नै प्रयासले योजना तर्जुमा, कार्यान्वयन, अनुगमन एवं मूल्याङ्कन गर्न क्षमता अभिवृद्धि गर्ने ।

यी क्रियाकलापहरूद्वारा भू-जलाधार एवं वन संरक्षणमा आधारीत सामुदायिक विकासका क्रियाकलापहरूलाई मध्यम स्तरीय प्राविधिकले सहयोग एवं प्रवर्द्धन गर्ने छन् ।

2 Key Concepts

मुख्य अवधारणा

Followings are the key concepts of the Project, based on the guiding principle: "Forest/Watershed Conservation through Community Development"

“सामुदायिक विकास मार्फत वन/जलाधार संरक्षण” को निर्देशित सिद्धान्तको आधारमा आयोजनाका मूलभूत अवधारणाहरु निम्न लिखित छन् :

2.1 Participatory Approach

सहभागितात्मक प्रक्रिया

The most essential concept of the Project is drawn from the recognition that sustainable community resource management requires capacity enhancement of the rural people in comprehending and solving their own problems, since these people depend on the utilization of their community resource for living. The Project will provide support throughout the sub-project process, and in doing so will always adhere to people's participatory approach.

Therefore, all the Project activities will be based on bottom-up participation by people with a view that such participation will encourage further involvement of the people along the process.

ग्रामिण जनता जो आफ्नो जीवनयापनको लागि सामुदायिक श्रोतको प्रयोगमा नै भरपछिन्छन्, तिनीहरुको समस्या पहिचान गर्न र समाधान गर्ने क्षमता अभिवृद्धि गर्न आवश्यक दिगो सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनमा नै यसको मूल अवधारणा निहित छ ।

आयोजनाले सह-योजना परिचालन अवधिभर आफ्नो सहयोग प्रदान गर्दछ र यसो गर्दा जनताको सहभागिताको लागि आयोजना दृढ रहने छ । त्यसैले आयोजनाका सम्पूर्ण क्रियाकलापहरु जनसहभागितामा आधारित हुनेछन् जसले आगामी प्रक्रियामा जनताको सहभागितालाई थप प्रोत्साहन प्राप्त हुनेछ ।

2.2 Integrated Community Resource Management

एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन

In promoting community resource management through participatory approach, the Project will support integrated community resource management at ward level with a view that various resources in the community are linked through use by its people for their daily life. The Project will not respond to private or individual needs raised by people, but will support integrated needs arising from CRMP and AAP.

The Project will organize community resource workshops at ward level and support people in formation of WCC, and in formulation of CBWMP, CRMP and AAP.

सहभागितात्मक पद्धतिद्वारा सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनलाई बढावा दिन आयोजनाले वडा स्तरमा एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनलाई सहयोग गर्नेछ । मानिसहरु आफ्नो दैनिक जीवनको लागि सामुदायिक श्रोतमा नै भर पछिन्छन् भन्ने कुरालाई मध्यनजर राखी वडा स्तरमा यो कार्यक्रम सञ्चालन गरिन्छ ।

आयोजनाले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनामा आवश्यक ठानिएका एकिकृत आवश्यकतालाई मात्र सहयोग गर्ने छ । यसमा व्यक्तिगत अथवा निजी आवश्यकतालाई महत्व दिइने छैन ।

आयोजनाले समुदायका सदस्यलाई सहयोग गर्ने उद्देश्यले सामुदायिक श्रोत कार्यशालाको आयोजना गर्ने छ जसद्वारा व.सं.स.को गठन, समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा, सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना र वार्षिक कार्य योजना तयार पारिनेछ ।

2.3 Empowerment

सशक्तिकरण

With a view that integrated community resource management requires enhancement of people's capacity, the Project will support the following activity at the request of WCC:

- Advocacy and dissemination, instruction and training for the people
- Support for strengthening organization e.g. WCC,

The Project will support in conducting training to WCC in order to meet the necessity arising from them. Furthermore, in conducting activities such as WCC formation, formation of CRMP and AAP, and implementation of sub-projects, the Project should pay due consideration to ensure that each component will serve as an OJT in the capacity building of the people.

एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनको लागि जनताको क्षमता वृद्धिको आवश्यकतालाई हृदंगम गरी आयोजनाले व.सं.स.को अनुरोधमा निम्न क्रियाकलापलाई सहयोग गर्नेछ :

- छलफल र सूचना प्रवाह, निर्देशन एवं तालिम

- व.सं.स. जस्ता संगठनको सुदृढिकरणको लागि सहयोग आवश्यकता अनुसार विभिन्न तालिम संचालन गर्न आयोजनाले व.सं.स.लाई सहयोग गर्नेछ । यसका अतिरिक्त विभिन्न क्रियाकलापहरु जस्तै व.सं.स. गठन, सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना तर्जुमा एवं वार्षिक कार्य योजना तयारी र सह-योजना कार्यान्वयनको प्रत्येक चरणमा जनताको क्षमता अभिवृद्धि होस भन्ने अभिप्रायले आयोजनाद्वारा “कार्यगत तालिम” प्रति आवश्यक विचार पुर्याउने छ ।

2.4 Gender and Equity

लैङ्गिक समानता

It is indispensable to ensure equal involvement of all the people in order to properly promote integrated community resource management through participatory approach.

Therefore, the Project will pay careful and appropriate attention in order to ensure benefit and equal involvement of underprivileged people e.g. the poor, occupational caste and women. The Project will never support any activity against this principle.

In addition, the Project will offer a special program titled POWER Program, for capacity building of targeting underprivileged people.

सहभागितात्मक प्रकृयाद्वारा एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनलाई बढावा दिन सबै महिला एवं पुरुषको सहभागितालाई सुनिश्चित गर्नु अपरिहार्य हुनेछ । त्यसैले, आयोजनाले विपन्न वर्ग जस्तै, गरिब पेशागत जाती र महिलालाई समान लाभ एवं सहभागी गराउन विशेष एवं आवश्यक ध्यान पुर्याउने छ । आयोजनाले यस सिद्धान्तको विपरित हुने गरी कुनै क्रियाकलापमा सहयोग गर्ने छैन । यस अतिरिक्त आयोजनाले विपन्न वर्गको क्षमता अभिवृद्धिको लागि पावर कार्यक्रम नामक एक विशेष कार्यक्रमलाई अगाडि ल्याउनेछ ।

2.5 Coordination with Local Governance Bodies

स्थानीय स्वायत्त निकायहरुसंगको समन्वय

In order to increase sustainability of integrated community resource management through participatory approach and promote it effectively and efficiently, the Project will closely collaborate with

- Ward as the smallest local governance body,
- VDC as the smallest local governance body with independent budget, and
- DDC of Kaski and Parbat district,

Therefore,

- Respective project activities will be carried out at ward level as a unit, with the core of WCC being Ward chairperson and other members.
- The target areas are selected on per-VDC basis and one Mid-Level Technician will be stationed at each VDC
- The Project H.Q. will maintain close communication with Kaski and Parbat DDC.

सहभागितात्मक प्रक्रियाद्वारा एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनलाई दिगो बनाउन र यसलाई प्रभावकारी एवं दक्ष रुपले अघि बढाउन आयोजनाले निम्न निकायसंग साझेदारी (सहकार्य) गर्नेछ :

- वडा, तल्लो स्तरको स्थानीय स्वायत्त निकाय
- गा.वि.स., आफ्नै बजेट भएको स्थानीय स्वायत्त निकाय
- जिल्ला विकास समितिहरु (कास्की र पर्वत)

त्यसैले,

- आयोजनाका निर्धारित क्रियाकलापहरु वडा स्तरमा सञ्चालन गरिनेछन् । वडा समितिका सदस्यहरु नै व.सं.स.का मुख्य सदस्यहरु हुनेछन् ।
- लक्षित क्षेत्रहरु प्रत्येक गा.वि.स.को आधारमा छानिने छन् र एउटा मध्यम स्तरीय प्राविधिक प्रत्येक गा.वि.स.मा रहनेछ ।
- आयोजना मुख्य कार्यालयले कास्की एवं पर्वत जि.वि.स.हरूसंग निकट सम्बन्ध कायम राख्नेछ ।

2.6 Field-Oriented Approach

कार्य क्षेत्रमुखि धारणा

Since participatory approach is the essential concept of the Project, the target community, in other words,

the "Field," will be the center of the Project activity. All the Project activities should be implemented in consideration of the "Field" situation, for the solution of "Field" issues, and based on the needs from the "Field".

In order to smoothly and appropriately promote activities in the field, one Mid-level Technician will be in charge in each target VDC with Motivators.

Hence, the main objective of other groups of the Project organization is to support for the field activity.

सहभागितात्मक प्रक्रिया आयोजनाको मुख्य अवधारणा भएको हुँदा लक्षित समुदाय नै आयोजनाको केन्द्र विन्दु हुनेछ । आयोजनाका सम्पूर्ण क्रियाकलापहरू लक्षित समुदायको अवस्था, तिनीहरूको समस्या समाधान एवं तिनीहरूको आवश्यकतालाई आधार मानी कार्यान्वयन गरिनेछ । स्थलगत क्रियाकलापलाई सुचारु एवं ठिक्कले संचालन गर्न प्रत्येक लक्षित गा.वि.स.मा उत्प्रेरकको साथै एक जना मध्यम स्तरिय प्राविधिक प्रमुखको रूपमा रहनेछन् ।

त्यसैले आयोजनाका अन्य समुहको मुख्य उद्देश्य स्थलगत क्रियाकलापलाई सहयोग गर्नु हुनेछ ।

2.7 Collaboration with NGO/CBO

गै.स.सं./स.आ.सं.संग साभेदारी

In order to promote effective and efficient integrated community resource management through participatory approach, the Project will, through WCC, collaborate with local NGO, CBO, and other existing people's group in community (such as forest users' group and water users' group), from the viewpoint of utilizing existing organization/human resource.

Moreover, the Project will coordinate with line agencies and donors working in the same area. Such coordination will be carried out, upon request from WCC, in accordance with the principle of participatory approach and people's needs.

On the other hand, the Project will disseminate information to line agencies and donors continuously.

सहभागितात्मक प्रक्रियाद्वारा प्रभावकारी एवं सुदृढ सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनको प्रवर्द्धनका निमित्त आयोजनाले व.सं.स. माफत स्थानिय गैर सरकारी संस्था, सामुदायमा आधारित संस्था एवं स्थानिय तहमा विद्यमान जनसमूहहरू (वन उपभोक्ता समूह, जल उपभोक्ता समूह) को पनि उपयोग गर्ने उद्देश्यले सहकार्य गर्नेछ । यसका अतिरिक्त आयोजनाले लक्षित क्षेत्रमा कार्यरत अन्य दातृ संघ संस्थाहरू संग पनि समन्वय कायम गर्ने छ । यस्तो समन्वय सहभागितात्मक प्रक्रियाको सिद्धान्त अनुरूप व.सं.स.को अनुरोधमा जन-आवश्यकता अनुसार नै कायम गरिनेछ । अर्को तिर आयोजनाले निरन्तर रूपमा अन्य दातृ संघ संस्थाहरू संग सूचना आदान प्रदान गरिरहनेछ ।

3 Scope of the Project

आयोजनाको क्षेत्र/सिमा

3.1 Target area

लक्षित क्षेत्र

The target areas are 10 VDCs in Kaski and Parbat district, selected by the Project based on the model area of the Development Study.

All the wards of selected VDCs will be the targets of the Project from the perspective that the Project promotes coordination with VDC as well as involvement of VDC in the Project activity. However, wards already selected in the first phase of the Project will be excluded.

The border of VDC and Ward will apply to the border of the target area.

आयोजनाले विकाश अध्ययनमा आधारित नमूना क्षेत्रहरूलाई ध्यानमा राखी पर्वत एवं कास्कीका दश गा.वि.स. हरूलाई लक्षित गरेको छ । छानिएका गा.वि.स.हरूमा सबै वडाहरू लक्षित क्षेत्रमा पर्दछन् । यसले आयोजनाको गा.वि.स. संगको समन्वय र यसको सहभागितालाई बढावा दिने विचारलाई प्रतिबिम्बित गर्दछ । प्रथम चरणमा समावेश गरिएका वडाहरू दोश्रो चरणमा समावेश गरिने छैन । गा.वि.स. एवं वडाको सिमाना नै लक्षित क्षेत्रको सिमाना हुनेछ ।

3.2 Target group

लक्षित समुह

Candidacy for Project support will apply to organizations/groups that consist of people in the community: besides WCC and UG, local NGO, CBO and other existing people organization in community are included for consideration. However, political organizations/groups and individuals (person/family) are excluded.

The Project will not support each group directly, but will support people through WCC. As an exception, POWER Groups, while they also belong to WCC, may be supported by the Project directly to extend careful and appropriate support for underprivileged people.

आयोजनाको निस्पक्ष सहयोग ती संस्था एवं समूहलाई हुनेछ जसमा समुदायका मानिसहरूको संलग्नता रहनेछ । यस बाहेक व.सं.स. र उपभोक्ता समूह, स्थानीय गैर सरकारी संस्था, समुदायिक संस्थाहरू एवं अन्य समुदायमा विद्यमान सामुदायिक संस्थाहरू पनि समावेश गर्न सकिने छन् । राजनैतिक संघ संस्थाहरू र व्यक्तिहरू (परिवार एवं व्यक्ति) समावेश गरिने छैन ।

आयोजनाले प्रत्येक समूहलाई प्रत्यक्ष सहयोग नगरी व.सं.स.मार्फत सहयोग गर्नेछ । विशेष ध्यान एवं उपयुक्त सहयोग पुऱ्याउने उद्देश्यले पावर समूहलाई व.सं.स.संग सम्बन्धीत भए पनि भिन्न रूपले आयोजनाद्वारा प्रत्यक्ष सहयोग गरिनेछ ।

3.3 Target Sub-project

लक्षित सह-योजना

Candidacy for Project supported sub-projects will apply to all activities directly or indirectly related to community resource management.

Nevertheless, with a view that indirect benefit brought from the implementation of sub-project, that is, enhancement in people's capacity, is as important as direct benefit to the people, below mentioned sub-projects would not be considered for Project support (see Annex 10).

- Activities with supporting budget of more than 200,000 NRs (too large for participatory approach),
- Activities with supporting budget of less than 10,000 NRs (too small, and should be conducted by self-help). Exceptional cases include ALC and Life Improvement activity of POWER Program, training and study tour in order to increase people's capacity or organizational strength,
- Activities with a purpose that does not match with that of the Project,
- Activities with key concepts that do not match with those of the Project,
- Activities whose implementation are considered impossible from practical and realistic point of view,
- Activities whose implementation have been already supported by line agencies and/or other donors
- Activities defined as inappropriate by the Project H.Q.: e.g. Life Improvement activity such as

poultry raising and vegetable cultivation (supportable only under POWER program), Motor road construction, Electricity, Telecommunication, School/Health post construction, etc.

In WCC's soliciting support for activities outside the domain of the Project to line agencies and/or other donors, the Project will extend support at the request of WCC, including auxiliary assistance such as communication.

आयोजनाद्वारा सहयोग गरिने सम्पूर्ण क्रियाकलापहरू प्रत्यक्ष वा अप्रत्यक्ष रूपले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनसंग सम्बन्धित हुनु पर्नेछ । तथापि कुनै सह-योजनाको कार्यान्वयनले अप्रत्यक्ष रूपमा जनताको क्षमता अभिवृद्धि गर्न मद्दत गर्छ भने त्यसबाट समेत जनतालाई प्रत्यक्ष फाइदा पुगेको सरह मानिनेछ । (अनुसूची १० हेर्नुस्)

निम्न लिखित सह-योजनाहरू आयोजनाद्वारा सहयोग गरिने सह-योजना अन्तर्गत राखिने छैन :

- यदि सह-योजनाका क्रियाकलापको निमित्त सहयोग रकम दुई लाख भन्दा बढी आवश्यक पर्छ भने सहभागितात्मक पद्धतिको निमित्त यो रकम अधिक हुनेछ ।
- दश हजार भन्दा कम सहयोग रकम आवश्यक हुने सह-योजनालाई जनताहरूको आफ्नै सहभागितामा सम्पन्न गर्न सकिनेछ । सह-योजनाहरू जसद्वारा जनताको क्षमता वृद्धि हुन सक्छ, संस्थालाई सुदृढ बनाउने उदाहरणको लागि पावर कार्यक्रम, तालिम, अध्ययन भ्रमणहरू, प्रौढ शिक्षा एवं जीवन सुधार क्रियाकलापलाई अपवाद स्वरूप सहयोग गर्न सकिनेछ ।
- क्रियाकलापहरू जो आयोजनाको उद्देश्यसंग मेल खादैन ।
- आयोजनाको मूलभूत अवधारणासंग मेल नखाने क्रियाकलापहरू ।
- व्यवहारिक एवं यथार्थताको आधारमा जुन सह-योजनाहरूको कार्यान्वयन असम्भव छ ।
- योजनाहरू जसको कार्यान्वयनको लागि अन्य लाइन एजेन्सी एवं दातृ संस्थाहरूद्वारा सहयोग प्राप्त भइरहेको छ ।
- आयोजना मुख्य कार्यालयद्वारा उचित नठहर्‍याइएका उदाहरणको लागि प्रौढ शिक्षा र जीवन सुधार कार्यक्रम (पावर कार्यक्रम अन्तर्गत मात्र सहयोग योग्य) मोटर बाटो निर्माण, विद्युतिय कार्य, दुर सञ्चार, विद्यालय एवं स्वास्थ्य केन्द्र निर्माण सम्बन्धी ।

आयोजनाले आफ्नो कार्यक्षेत्र भन्दा बाहिरका क्रियाकलापहरूको लागि व.सं.स.को अनुरोधमा विभिन्न सरकारी तथा दातृ संस्थाहरूसंग सम्पर्क विस्तारको काममा समेत सहयोग गर्नेछ । जस अन्तर्गत सञ्चार जस्ता सामान्य सहयोगहरू पर्ने छन् ।

3.4 Budget

बजेट

3.4.1 Support from the Project and exception for the first year

आयोजनाद्वारा सहयोग एवं प्रथम वर्षको लागि विशेष प्रावधान

In principle, the total budget for 3-year activities to be supported by the Project under the CRMP is the sum of 2,500 NRs per household multiplied by the number of household in the Ward (at the time of WCC formation). In the event that the total amount exceeds 300,000 NRs, 300,000 NRs is determined as the budget (maximum limit). Similarly, when total amount is below 100,000 NRs, 100,000 NRs becomes the budget for that Ward (minimum limit). However, this Ward-based allocation of the budget indicates upper ceilings of the budget only, and it is not automatically guaranteed. The total budget to be supported by the Project will be finalized by the Project H.Q. after CRMP, AAP, and progress of first-year sub-project implementation are reviewed. The first year is considered as a trial as well as learning period. Therefore WCC can implement only one sub-project in the first year and the upper limit of supporting budget is set at 50,000 NRs for the first year.

Depending on the attitude/achievement of the WCC through sub-project implementation, the finalized total support budget may be reviewed for reduction.

सैद्धान्तिक रूपले सा.श्रो.व्य.यो. अन्तर्गत आयोजनाद्वारा सहयोग गरिने क्रियाकलापहरूका लागि कुल रकम बडामा विद्यमान घरधुरी संख्यालाई रु २,५०० ले गुणन गरी निर्धारण गरिनेछ ।

यसरी आउने रकम यदि ३००,००० भन्दा बढी हुने भएमा तीन लाखलाई उच्चतम सीमा कायम गरिनेछ र यदि बजेट रकम एक लाख भन्दा कम छ भने पनि न्यूनतम सीमा एक लाख कायम गरिनेछ ।

बडाको आधारमा गरिने रकम निर्धारणले बजेटको अधिकतम सीमालाई संकेत मात्र गर्दछ यसले स्वतः त्यो रकमको अनुमति प्रदान गर्दैन । आयोजनाबाट प्रदान गरिने कुल रकमको अन्तिम निर्णय आयोजना मुख्य कार्यालयद्वारा सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना, वार्षिक कार्य योजना एवं सह-योजना कार्यान्वयनको प्रथम वर्षको प्रगतिको आधारमा गरिनेछ । प्रथम वर्षलाई परीक्षणकालको साथ साथै अध्ययन अवधिको रूपमा लिइनेछ । प्रथम वर्षमा कार्यान्वयन गर्न सकिने एउटा मात्र सह-योजनाको लागि उच्चतम सहयोग सीमा ५०,००० हुनेछ । सह-योजना कार्यान्वयन मार्फत व.सं.स.को उपलब्धि/प्रवृत्तिका आधारमा निर्णय गरिएको कुल बजेटमा कटौतीका लागि पुर्नविचार गर्न सकिनेछ ।

3.4.2 Cost estimation and cost sharing between the Project and the people आयोजना र जनता बिच लागत अनुमान र बाडफाड

Cost estimation of sub-project will be computed based on the DSCO standard with necessary adjustment such as modification for the price of market materials to reflect transportation cost. Then, the Project will determine the ratio of its support to the total sub-project cost, based on the following principles(see Annex 13).

- Standard support ratio will be established to provide resources not available from the community. Those items include: market materials and skilled labor.
- While standard support ratio will be applied to sub-project for public facility (facility for public use, such as trail and water supply),
 - Upward adjustment of the support ratio will be made for sub-project with high public benefit (cases where expected benefit reaches beyond the target Ward and/or covers downstream area(s); examples include tree plantation, forest conservation and erosion control)
 - Downward adjustment of the support ratio will be made for sub-project with benefit to individuals (cases where expected benefit directly goes to individuals; example includes toilet construction)
- On the other hand, in view of the gender and equity perspective, upward adjustment of the support ratio will be made for sub-project with participation by underprivileged people, such as ALC and Life Improvement activity of POWER Program.

सह-योजनाको लागत अनुमान जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालयको मापदण्डको आधारमा आवश्यक समायोजन (बजार भाउ एवं ढुवानीमा आएको परिवर्तन) सहित निर्धारण गरिनेछ ।

त्यस पछि निम्न सिद्धान्तहरूलाई आधार मानी आयोजनाले सह-योजनाको कुल लागतमा आफ्नो सहयोगको अनुपात निर्धारण गर्नेछ (अनुसूची १३ हेर्नुस्) :

- समुदायबाट उपलब्ध नहुने श्रोतहरू उपलब्ध गराउन निश्चित सहयोग अनुपात कायम गरिनेछ । यसमा बजार सामाग्री र दक्ष जनशक्ति पर्दछन् ।
- सार्वजनिक सुविधाको लागि कार्यान्वयन गरिने सह-योजना (उदाहरणको लागि गोरेटो बाटो एवं पिउने पानी) को लागि सहयोग अनुपातको निर्धारण गर्दा :
 - अधिकतम सार्वजनिक फाइदाको लागि कार्यान्वयन गरिने सह-योजनालाई सहयोग अनुपातको निर्धारण गर्दा निर्धारित मापदण्डमा थप गरिन्छ (क्रियाकलापहरू जसद्वारा लक्षित क्षेत्र भन्दा बढीलाई फाइदा पुग्दछ जस्तो वृक्षारोपण, वन संरक्षण एवं भू-संरक्षण) ।
 - व्यक्तिगत फाइदा पुग्ने सह-योजनाको लागि सहयोग अनुपातको निर्धारण गर्दा निर्धारित मापदण्डमा कम गरिन्छ । (कार्यक्रमहरू जसमा व्यक्तिहरूलाई प्रत्यक्ष लाभ हुन्छ उदाहरणको लागि चर्पी निर्माण)
- अर्कोतिर महिला तथा लैङ्गिक समानतालाई मध्य नजर राखी विपन्न वर्गको सहभागिता रहने सह-योजना (पावर कार्यक्रम अन्तर्गतका प्रौढ शिक्षा र जिवन सुधार) को लागि सहयोग अनुपात निर्धारण गर्दा निर्धारित दरमा थप गरिनेछ ।

3.4.3 Exceptional case for POWER program पावर कार्यक्रमका लागि विशेष व्यवस्था

The budget for ALC and Life Improvement activity of POWER Program is provided separately and it will not be included in WCC budget.

पावर कार्यक्रम अन्तर्गत सञ्चालित प्रौढ शिक्षा एवं जिवन सुधार क्रियाकलापका लागि छुट्टै बजेटको व्यवस्था गरिने छ । यसलाई व.सं.स.को बजेटमा समावेश गरिने छैन ।

3.5 Political Neutrality राजनैतिक तटस्थता

The Project will maintain political neutrality at any time, any place, and in any situation. Thus, the Project will never support any political activity or political group.

आयोजनाले कुनैपनि समय, स्थान र अवस्थामा राजनैतिक निष्पक्षतालाई कायम राख्नेछ । त्यसैले आयोजनाले कुनैपनि राजनैतिक क्रियाकलाप एवं राजनैतिक समूहलाई सहयोग गर्ने छैन ।

4 Organization

संगठन

Organizations and roles of the Project are as follows (see Annex 1).
आयोजनाको भूमिका र संगठनहरू निम्न प्रकार छन् (अनुसूची १ हेर्नुस्) :

4.1 Mother organization

मुख्य संस्था

4.1.1 DSCO and JICA

जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालय र जापान अन्तर्राष्ट्रिय सहयोग नियोग ।

As stipulated in R/D.

रेकर्ड अफ डिस्कसनमा उल्लेख भए अनुसार

4.1.2 DDC

जिल्ला विकास समिति

DDC will

- Attend at the Project Management Meeting,
- Provide cooperation on coordination for VDCs, Wards and others,
- Provide advice and consult for the Project,
- Cooperate on mobilization of VDC's resource approach

जि.वि.स.का कार्यहरू

- आयोजना व्यवस्थापन बैठकमा भाग लिनु
- गा.वि.स., वडा एवं अन्य संग समन्वय गर्न सहयोग उपलब्ध गराउनु ।
- आयोजनालाई सुझाव दिनु एवं सम्पर्क कायम राख्नु ।
- गा.वि.स.को श्रोत परिचालनमा मद्दत पुर्याउनु ।

4.1.3 VDC

गाउँ विकास समिति

VDC will

- Participate in various aspects of the Project,
- Provide cooperation on coordination for Wards and others,
- Provide advice and consult for the Project,
- Cooperate on mobilization of VDC's resource, such as offering working place for the Project.

गा.वि.स. का कार्यहरू

- आयोजनाका विविध पक्षहरूमा सहभागी हुने ।
- वडा एवं अन्य संस्थासंग समन्वय कायम राख्न सहयोग प्रदान गर्ने ।
- आयोजनासंग सम्पर्क स्थापित गर्ने एवं सहयोग प्रदान गर्ने ।
- गा.वि.स.को श्रोत परिचालनको सम्बन्धमा आयोजनालाई मद्दत गर्ने जस्तै आयोजनालाई उलब्ध गराइने कार्य स्थल ।

4.1.4 Ward

वडा

Ward will

- Take initiatives in implementing all the Project activity, through WCC,
- Pay careful attention to political neutrality of the Project, and
- Cooperate with the Project on broad-spectrum, including consideration for security.

वडाका कार्यहरु

- व.सं.स. मार्फत परियोजनाका क्रियाकलापहरु कार्यान्वयन गर्न अग्रसरता देखाउने ।
- आयोजनाको राजनैतिक तटस्थताको सम्बन्धमा विशेष ध्यान पुऱ्याउने ।
- आयोजनालाई सुरक्षा मामिला सहित विविध पक्षमा सहयोग गर्ने ।

4.2 Functional organization

कार्यगत संगठन

4.2.1 Project H.Q.

आयोजना मुख्य कार्यालय

The Project H.Q. will carry out overall management of the Project, provide support for the field activity, control MD Team, and cooperate with DDC.

The decision by the Project H.Q. will be made in consultation with the Officers of DSCO Kaski, DSCO Parbat and JICA Chief adviser.

आयोजना मुख्य कार्यालयले आयोजनाको सम्पूर्ण व्यवस्थापन, स्थलगत क्रियाकलापमा सहयोग, एम/डी टिमलाई नियन्त्रण र जि.वि.स.संग समन्वय राख्ने काम गर्नेछ । आयोजना मुख्य कार्यालयबाट गरिने निर्णयहरु जिल्ला भू-संरक्षण कार्यलय कास्की, जिल्ला भू-संरक्षण कार्यलय पर्वतका अधिकृतहरु एवं जाइकाका प्रमुख सल्लाहकारको आपसी परामर्स एवं सम्पर्कबाट गरिने छ ।

4.2.2 Mid-level Technician

मध्यम स्तरीय प्राविधिक

Mid-level Technician will manage overall coordination of the Project support at the field level, provide advice/support to WCC and POWER Group, and collaborate with VDC.

Mid-level Technician will be the representative of the Project, in the field and attend VDC and WCC meeting regularly.

मध्यम स्तरीय प्राविधिकले स्थलगत रूपमा आयोजनाले गर्ने सहयोगको व्यवस्थापन, व.सं.स., पावर समूहलाई सहयोग/सल्लाह तथा गा.वि.स.संग समन्वय राखी कार्य गर्ने छन् । मध्यम स्तरीय प्राविधिक फिल्डमा आयोजनाको प्रतिनिधीको रूपमा रहनेछन् र गा.वि.स. एवं व.सं.स. को बैठकमा नियमित रूपले उपस्थित हुने छन् ।

4.2.3 MD Team

एम/डी टिम

MD Team will support Mid-level Technician and Motivator, in multi-disciplinary aspects.

एम/डी टिमले मध्यम स्तरीय प्राविधिक र उत्प्रेरकलाई विविध विषयमा सहयोग गर्नेछ ।

4.2.4 Motivator

उत्प्रेरक

Motivator will work with Mid-level Technician and attend VDC and WCC meeting regularly.

उत्प्रेरकले मध्यम स्तरीय प्राविधिकसंग काम गर्नेछन् र गा.वि.स. एवं व.सं.स.को बैठकमा नियमित रूपले उपस्थित हुनेछन् ।

4.3 Conference/Meeting

सम्मेलन/बैठक

4.3.1 Joint Coordination Committee

संयुक्त समन्वय समिति

As stipulated in the R/D.

रेकर्ड अफ डिस्कसनमा उल्लेख भए अनुसार ।

4.3.2 Project Management Meeting

आयोजना व्यवस्थापन बैठक

The Project Management Meeting will be participated by Director General of DSCWM, DSCO, JICA, DFO, WRFD, CDO and DDC. In addition, RPO, DPO, other line agencies and donors selected by the Project H.Q. will be invited as observers.

The Project Management Meeting will cover

- Report on the Project management,
- Discussion, and
- Hearing on opinions for amendment of the key concepts of this Guideline, when considered necessary.

आयोजना व्यवस्थापन बैठकमा भू-संरक्षण एवं जलाधार व्यवस्थापन विभागका महा-निर्देशक, जिल्ला भू-संरक्षण अधिकृतहरु, जाइका विशेषज्ञहरु, जिल्ला वन अधिकृत, क्षेत्रिय वन अधिकृत, प्रमुख जिल्ला अधिकारी एवं जि.वि.स. सभापतिहरुको सहभागिता रहनेछ । यसका अतिरिक्त आयोजनाले निश्चित गरेका क्षेत्रिय प्रहरी प्रमुख, जिल्ला प्रहरी प्रमुख, अन्य आमन्त्रित संघ संस्था एवं दातृ संस्थाहरुलाई पर्यवेक्षकको रूपमा भाग लिन आमन्त्रण गरिनेछ ।

आयोजना व्यवस्थापन बैठकले निम्न कुराहरु समेट्ने छ :

- आयोजना व्यवस्थापन प्रतिवेदन ।
- छलफलहरु, र
- आवश्यकता महशुस गरिएमा यस निर्देशिकाको मूलभूत अवधारणालाई संशोधन गर्ने विचारहरुको संकलन ।

4.3.3 Monthly Meeting

मासिक बैठक

The Monthly Meeting will be participated by DSCO, JICA, Mid-level Technician, MD Team, and Motivator. In addition, necessary project staff will join.

The Monthly Meeting will cover

- Report on the Project management,
- Discussion, and
- Decision making on important issues such as amendment of this Guideline.

आयोजनाको मासिक बैठकमा जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालय/जाइका, एम/डी टिम, मध्यम स्तरीय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकहरुको सहभागिता हुनेछ । यसका अतिरिक्त आयोजनाका अन्य कर्मचारीहरुले आवश्यकता अनुसार भाग लिनेछन् ।

मासिक बैठकले निम्न कुराहरु समेट्ने छ :

- आयोजना व्यवस्थापन सम्वन्धि प्रतिवेदन,
- छलफलहरु, र
- निर्देशिका संशोधन जस्ता महत्वपूर्ण विषयहरुमा निर्णय ।

5 Training

प्रशिक्षण (तालिम)

In consideration of ensuring appropriate, fair and smooth implementation of the Project, the Project will plan, organize and conduct various kinds of training and orientation to Mid-level Technician, Motivator, WCC and VDC/Ward Committee members respectively.

योजना कार्यान्वयन सूचारु, स्वच्छ एवं उपयुक्त प्रक्रियाले भइरहेको छ भन्ने कुरा सुनिश्चित गर्न आयोजनाले मध्यम स्तरिय प्राविधिक, उत्प्रेरक, व.सं.स., गा.वि.स./वडा समिति सदस्यहरुको निमित्त विभिन्न किसिमका तालिमहरु एवं अभिमुखीकरण (orientation) को योजना, व्यवस्थापन र संचालन गर्ने छ ।

At the same time, the Project will develop curriculum and manual for each training with DSCO officer and MD team in order to consolidate training method. Moreover, training curriculum for WCC members will be provided flexibly, almost every month, according as activity progress of each ward.

यसै अनुरूप आयोजनाले भू संरक्षण अधिकृतहरु एवं एम/डी टिमसंग छलफल गरी तालिम प्रक्रियालाई सुदृढ बनाउने उद्देश्यले दिइने तालिमहरुको निमित्त तालिम सामग्री एवं म्यानुअल तयार गर्नेछ । यसका अतिरिक्त व.सं.स. सदस्यहरुको लागि वडामा कार्य प्रगतिको आधारमा प्रत्येक महिना जसो तालिम सामग्री आवश्यकता अनुसार उपलब्ध गराउनेछ ।

These training topics cover various fields such as participatory approach, technical instructions, gender sensitization as well as practical management works.

विभिन्न शिर्षक अन्तर्गत दिइने तालिमहरुले विविध पक्षहरु जस्तै सहभागितात्मक प्रक्रिया, प्राविधिक जानकारी, लैङ्गिक सचेतनाको साथै प्रयोगात्मक व्यवस्थापन कार्यलाई समेट्नेछ ।

In addition, the Project will plan study tour at VDC level for the purpose of strengthening group management. यस बाहेक, आयोजनाले समूह व्यवस्थापन प्रक्रियालाई सुदृढ गर्ने उद्देश्यले गा.वि.स. स्तरको अध्ययन भ्रमणको आयोजना गर्नेछ ।

6 Operation Procedure

कार्य संचालन प्रक्रिया

The expected final accomplishment of the Project is that based on their own initiatives the people will acquire capacity to implement following activity, and they will achieve appropriate resource management.

- To have a grasp of the condition of their resource situation of the village,
- To recognize present problems and their causal relationship,
- To create an image for better future,
- To plan actual measures to achieve the image with due consideration to equity,
- To form necessary organization(s) for implementation plans,
- To mobilize local resources (including human resource) as well as minimum external resources (to be sought from line agencies and donors at their own initiatives),
- To carry out sub-projects in an appropriate manner
- To implement monitoring and evaluation of the activities,
- To take necessary after-care.

Thus, overall activity of the Project is designed as an OJT for the people's capacity building, although each sub-project has its own direct benefit for the people.

In preceding the Project activity in the field, based on the procedure mentioned above, it is necessary to keep in mind that all the activity should be practical training for the people to increase their capacity for integrated community resource management (see Annex 2).

जनताले आफ्नै अग्रसरतामा निम्न लिखित क्रियाकलापहरु कार्यान्वयन र उचित श्रोत व्यवस्थापन गर्ने क्षमता प्राप्त गर्ने छन् भन्ने कुरा आयोजनाको अन्तिम अपेक्षित उपलब्धि हुनेछ :

- ग्रामिण स्तरमा रहेका श्रोतहरुको अवस्थाको जानकारी राख्ने ।
- वर्तमान समस्याको पहिचान एवं त्यसको कारण पत्ता लगाउने ।
- उज्ज्वल भविष्यको स्वरूप निर्धारण गर्ने ।
- समानतालाई ध्यानमा राखी उज्ज्वल भविष्यको परिकल्पना साकार पार्न वास्तविकतामा आधारित योजना

तर्जुमा गर्ने ।

- योजना कार्यान्वयन गर्न आवश्यक संघ संस्था गठन गर्ने ।
- स्थानीय श्रोतको परिचालन गर्ने (मानव श्रोत सहित) तथा वाह्य श्रोतको न्यूनतम प्रयोगमा जोड दिने (अन्य संघ संस्था एवं दातृ संस्थाबाट उनीहरूकै अग्रसरतामा प्राप्त हुने) ।
- उचित तरिकाले सह-योजना संचालन गर्ने ।
- क्रियाकलापहरूको अनुगमन एवं मूल्याङ्कन गर्ने ।
- तत्पश्चात मर्मत संभार एवं स्थायित्वमा ध्यान पुऱ्याउने ।

यसरी आयोजनाका सम्पूर्ण क्रियाकलापहरू कार्यगत तालिम प्राप्त हुने गरी तयार गरिएका छन् यद्यपि प्रत्येक सह-योजनाले जनतालाई प्रत्यक्ष लाभ पुऱ्याउछन् ।

उल्लेखित प्रक्रिया मार्फत स्थलगत रूपमा आयोजनाका क्रियाकलापलाई अगाडि बढाउदा यो कुरा मनन गर्नु आवश्यक छ कि एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनका लागि गरिने सम्पूर्ण क्रियाकलाप जनताको क्षमता अभिवृद्धिका लागि प्रयोगात्मक तालिमको रूपमा हुनुपर्छ (अनुसूची २ हेर्नुस्) ।

6.1 Motivator-employment

उत्प्रेरकको नियुक्ति

2 Motivators were selected from the VDC where the Mid-level Technician will be in charge, through public vacancy announcement. They will support the Mid-level Technician in terms with particularly field-based activity.

खुला दरखास्त आवहानद्वारा दुई जना उत्प्रेरकहरू प्रत्येक गा.वि.स.बाट छानिएको छ जसको प्रमुखको रूपमा मध्यम स्तरिय प्राविधिक रहनेछन् । स्थलगत क्रियाकलापहरूमा उत्प्रेरकले मध्यम स्तरिय प्राविधिकलाई सहयोग गर्ने छन् ।

6.2 Information collection and dissemination

सूचना संकलन र प्रवाह

Based on the data gathered by the Development Study, Mid-level Technician and Motivator will conduct information collection regarding the Ward, through interviews to the VDC, visits to the Wards and contacts with the Ward chairperson and/or its member(s).

The information obtained will serve as a reference for Mid-level Technician and Motivators' activity, and will be utilized in support of community resource workshop, and CBWMP as well as CRMP planning.

Also, Mid-level Technician and Motivator will carry out general information dissemination about the Project in respective Ward (see Annex 2 and 3).

Information collection and dissemination will be carried out continuously during the duration of the Project implementation.

विकास अध्ययनद्वारा संकलित तथ्याङ्कलाई आधार मानि मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकले वडाको सम्बन्धमा गा.वि.स.मा अन्तर्वाता, वडा भ्रमण, वडा अध्यक्ष एवं सदस्यहरूसँग सम्पर्क स्थापित गरेर सूचना संकलन गर्नेछन् ।

संकलित सूचनाहरूको प्रयोग मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकले सामुदायिक श्रोत कार्यशाला, समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा तर्जुमा र सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना तयार गर्दा गर्नेछन् ।

मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकले सम्बन्धित वडाहरूमा आयोजना सम्बन्धि सूचना प्रवाहको कार्यपनि गर्नेछन् (अनुसूची २ र ३ हेर्नुस्) ।

उनीहरूद्वारा आयोजना कार्यान्वयन अवधि भर नै सूचना संकलन एवं प्रवाहको काम निरन्तर रूपमा गरिने छ ।

6.3 Secureness of paper work place at the target VDC

लक्षित गा.वि.स.मा कार्यालय प्रयोजन स्थानको सुरक्षा

The paper work place in the field will be in the VDC office, in principle. Paper work place is not site office. However, if the necessity arises, Mid-level Technician will select a candidate location for its working place in consideration of various factors such as security, coordination with VDC, and access to respective Ward: the approval will be granted by the Project H.Q, with agreement from the VDC.

लक्षित गा.वि.स.मा आयोजना सम्बन्धी कागजी कार्यको लागि गा.वि.स. भवनको केही स्थान प्रयोग गरिनेछ तर

यसलाई स्थलगत कार्यालय मानिने छैन । तथापी आवश्यकता महसुस भएमा सुरक्षा व्यवस्था, गा.वि.स.संग समन्वय एवं वडाहरुसंगको दुरी जस्ता विविध पक्षलाई ध्यानमा राखी मध्यम स्तरिय प्राविधिकले एउटा उपयोगी एवं सर्वसम्मत कार्य स्थानको चयन गर्ने छन् र गा.वि.स.को सहमतिमा आयोजना मुख्य कार्यालयले त्यसलाई मान्यता दिनेछ ।

For security purpose, nobody is allowed to reside in the paper work place even for a temporary period of time: expensive materials and cash also will not be kept. At the same time, Motivator will not keep the Project document at their residence.

सुरक्षा व्यवस्थालाई ध्यानमा राखी कुनै पनि व्यक्तिलाई कागजी कार्य स्थानमा छोटो समयको लागि भए पनि बास बस्न दिइने छैन । मूल्यवान सामग्री एवं नगद पनि त्यस स्थानमा राखिने छैन । त्यसै क्रममा उत्प्रेरकहरुले पनि आयोजना सम्बन्धी कागजातहरु आफ्नो निवास स्थानमा राख्ने छैनन् ।

6.4 Community resource workshop

सामुदायिक श्रोत कार्यशाला

In principle, community resource workshop will be held based on per Ward as a unit.

In the workshop, the participants will discuss about the overall image of the community's resource, their present problems, problems that they predict to face in the future, cause and effect related to those problems, and based on the examination on those matters, will consider an image they should aim for their future.

Procedure and duration of the workshop will be arranged in collaboration with the Mid-level Technician and Motivator and local community. Apart from the representatives from VDC, the Ward chairperson and all the Ward members, each Tole will send 2 representatives (1 person should be a woman, in principle) to the workshop.

The Mid-level Technician and Motivator may add some participants, in consideration of gender, equity and other circumstances, upon consultation with the Ward chairperson.

Also, when POWER Program is considered effective based on the information previously obtained, Mid-level Technician and Motivator will facilitate local community to specify the target for POWER Group and obtain consensus on group forming in the workshop. In principal, each Ward will form 1 POWER Group (Depending on the Ward situation, it is possible to form none).

सैद्धान्तिक रुपमा हरेक वडालाई एउटा इकाई मानी सामुदायिक श्रोत कार्यशाला संचालन गरिनेछ ।

कार्यशालामा सहभागीहरुले सामुदायिक श्रोतको स्वरुप (किसिम), वर्तमान समस्याहरु, भविष्यमा सामना गर्नुपर्ने सम्भावित समस्या र ति समस्याका कारण एवं प्रभावका बारेमा छलफल गर्ने छन् । उपर्युक्त छलफलका आधारमा ती श्रोतहरुको भावी स्वरुपको लक्ष्य निर्धारण गर्ने छन् ।

कार्यशालाको प्रक्रिया एवं अवधि मध्यम स्तरिय प्राविधिक, उत्प्रेरक र स्थानिय समुदायले तय गर्नेछन् । कार्यशालामा गा.वि.स. प्रतिनिधि लगायत सम्बन्धित वडाका वडा अध्यक्ष सहित सम्पूर्ण वडा सदस्यहरु र प्रत्येक टोलले पठाउने २ जना प्रतिनिधि (सैद्धान्तिक रुपले एकजना महिला) सहभागी हुने छन् ।

वडा अध्यक्षसंग परामर्श गरी महिला, लैङ्गिक समानता एवं अन्य परिस्थितिलाई ध्यानमा राखी मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकले केही सहभागीहरु थप्न सक्नेछन् ।

संकलित सूचनाको आधारमा पावर कार्यक्रम प्रभावकारी ठानिएमा मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकले उक्त कार्यशालामा स्थानिय समुदायलाई पावर समूह लक्षित गर्न र समूह गठनका लागि सहमति जुटाउन सहयोग गर्नेछन् । सैद्धान्तिक रुपले प्रत्येक वडामा एक पावर समूह गठन गरिनेछ (वडाको अवस्था अनुसार, कुनै वडामा पावर समूह नहुन पनि सक्छ) ।

6.5 Special Consideration for POWER Group

पावर समूहको लागि विषेश व्यवस्था

Mid-level Technician and Motivator may support training and/or study tour for the purpose of capacity building and/or organization strengthening of POWER Group once a year per Ward. The budget for the above mentioned activities will be separately allocated, and will not be included in WCC budget.

In addition, POWER Group can implement a sub-project as only categorized in ALC and Life Improvement activity.

WCC will form sub-projects under POWER Program based on opinions from the representatives of the POWER Group, with appropriate advice given by Mid-level Technician and Motivator.

पावर समूहको सुदृढिकरण एवं क्षमता अभिवृद्धि गर्ने उद्देश्यले मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकद्वारा प्रत्येक वडालाई वर्षमा एक पटक तालिम एवं अध्ययन भ्रमणको निमित्त सहयोग गर्न सकिनेछ । उल्लेखित क्रियाकलापको लागि छुट्टै बजेटको व्यवस्था गरिनेछ जसलाई व.सं.स.को बजेटमा समावेश गरिने छैन । यसका अतिरिक्त, पावर समूहले प्रौढ शिक्षा एवं जीवन सुधार शिर्षक अन्तर्गतका सह-योजना मात्र कार्यान्वयन गर्न सक्ने छन् ।

व.सं.स.ले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा आवश्यक समायोजन, आयोजना मुख्य कार्यालय र मध्यम स्तरिय प्राविधिकको सल्लाह एवं गा.वि.स. र जि.वि.स.को विचार/सुझावका आधारमा गर्नेछ ।

6.6 WCC formation

व.सं.स. गठन

Based on the result of the community resource workshop, and by approval of the workshop participants, WCC will be formed as a core organization for people in the community to plan and implement integrated community resource management.

The members of WCC will be Ward chairperson and all the Ward members, in principle. Furthermore, the following member can be added according as activity progress (see Annex 7).

- Representatives of POWER Group (2 persons, of whom at least 1 person should be a woman, in principle)
- Persons recommended by the Mid-level Technician in consideration of gender, equity and other circumstances and approved by the Ward chairperson (when and where appropriate)
- UG representative, if necessary (after UG is formed.)

In addition, at least 30% of the WCC members must be female (50% is strongly recommended).

After a WCC is formed, without delay, it stipulates its regulation describing schedule of periodical meetings and declaration of fund establishment WCC then submits the regulation, the member list, and the minutes of the workshop to the Project through Mid-level Technician and Motivator. At the same time, WCC files a report on the number of household of the Ward signed by VDC (see Annex 8).

Mid-level Technician and Motivator will support the WCC activity all through the operation procedure of the Project.

सामुदायिक श्रोत कार्यशालाको परिणाम एवं सहभागीहरूद्वारा अनुमोदन गरिएको आधारमा एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनको योजना तर्जुमा एवं कार्यान्वयनका लागि समुदायका मानिसहरूको एउटा मुख्य संस्थाको रूपमा व.सं.स.को गठन गरिनेछ । व.सं.स.का सदस्यहरूमा (सैद्धान्तिक रूपले) वडा अध्यक्ष एवं वडा सदस्यहरू रहने छन् । यसका अतिरिक्त व.सं.स.को कार्य प्रगतिका आधारमा निम्न सदस्यहरू राख्न सकिने छ (अनुसूची ७ हेर्नुस्) ।

- पावर समूहका प्रतिनिधिहरू (२ जना, जस मध्ये सैद्धान्तिक रूपले एकजना महिला हुनुपर्छ) ।
- महिला, लैङ्गिक समानता एवं अन्य परिस्थितिलाई ध्यानमा राखी मध्यम स्तरिय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकले सिफारिश गरेका र वडा अध्यक्षद्वारा स्वीकृत व्यक्तिहरू ।
- उपभोक्ता समूहको गठन पछि उपभोक्ता समूहको प्रतिनिधि, यदि आवश्यक भएमा ।

यसका अतिरिक्त व.सं.स.का सदस्यहरू मध्ये कम्तीमा ३० प्रतिशत महिला हुन आवश्यक छ (पचास प्रतिशत भए राम्रो) ।

व.सं.स.को गठन पश्चात व.सं.स.ले तत्कालै नियमित अन्तरालमा गरिने बैठकको समय तालिका एवं कोष स्थापनाको जानकारी गराउने छ । यस पश्चात व.सं.स.ले यसको नियम, सदस्यहरूको नामावाली एवं कार्यशालाको निर्णय विवरणहरू मध्यम स्तरिय प्राविधिक एवं उत्प्रेरक मार्फत आयोजना समक्ष पेश गर्नेछ । यसै समयमा गा.वि.स.बाट प्रमाणित गराइएको वडामा विद्यमान घर धुरी संख्याको विवरण पनि प्रस्तुत गर्नेछ (अनुसूची ८ हेर्नुस्) ।

मध्यम स्तरिय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकले आयोजनाको सबै कार्य सञ्चालन प्रक्रियाहरूमा व.सं.स.का क्रियाकलापहरूलाई सहयोग गर्नेछन् ।

6.7 POWER Group Formation

पावर समूह गठन

If there is already a consensus made at the workshop regarding formation of a POWER Group, POWER Group will be formed after WCC is set up. After POWER Group is formed, without delay, it stipulates its regulation describing schedule of periodical meetings. In addition, POWER group stipulates fund

establishment before commencement of second-year AAP, POWER Group then submits to the Project its regulation, member list, and the minutes of the workshop through Mid-level Technician and Motivator. POWER Group formation and submission of ALC application to the Project H.Q. should be completed by not later than 15 December 2002 (see Annex 9).

Addition of member(s) to each POWER Group after the commencement of the first-contracted ALC will not be approved any more.

यदि कार्यशालामा पावर समूह गठन सम्बन्धि सहमति भइसकेको छ भने व.सं.स. गठन भइसकेपछि पावर समूह गठन गरिनेछ । पावर समूह गठन हुनासाथ यसले निश्चित अन्तरालमा वस्ने बैठकको समय तालिका र कोष संकलनको व्यवस्था समेत उल्लेख गरी नियम/कानून बनाउनेछ । त्यसपछि पावर समूहले यसको नियम, सदस्यहरूको नामावली र कार्यशालाको निर्णयहरू मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरक मार्फत आयोजनालाई उपलब्ध गराउनेछ । पावर समूहको गठन र प्रौढ शिक्षाको निवेदन आयोजनाको मुख्य कार्यालयमा १५ डिसेम्बर २००२ भन्दा अगावै पेश गरिसक्नु पर्नेछ (अनुसूची ९ हेर्नुस्) ।

सम्झौता सहित पहिलो वर्षको प्रौढ शिक्षा प्रारम्भ भई सके पछि पावर समूहमा सदस्य संख्या थप गर्न कुनै पनि हालतमा अनुमति दिइने छैन ।

6.8 Exception for WCC formation

व.सं.स. गठन सम्बन्धि विशेष व्यवस्था

It is possible to form WCC that incorporates more than 2 Wards, upon request by the people and/or recommendation by the Mid-level Technician and Motivator, with agreement of the people in the related wards.

In this case, wards that belong to the same WCC will be regarded as 1 ward in the Project scheme.

जनताको अनुरोध र/एवं मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकको सिफारिशमा सम्बन्धित वडाका जनताहरूको सहमति अनुरूप दुई वा दुई भन्दा बढि वडालाई समेट्ने गरी एउटै व.सं.स. पनि गठन गर्न सकिनेछ । यस्तो अवस्थामा एउटै व.सं.स.को मातहतमा रहेका वडाहरू लाई आयोजनाको नियम अनुसार एउटा वडा सरह मानिने छ ।

6.9 CBWMP formulation

समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणाको तर्जुमा

WCC will formulate CBWMP, based on the result of community resource workshop, with support from Mid-level Technician and Motivator.

CBWMP will be a grand design of the future of the ward, which illustrates the best practical image of "future situation of the community's resource" based on the present resource condition and its management situation (see Annex 4).

In consideration of coordination with local governance bodies, it is fixed that the boundary of CBWMP always corresponds to that of Ward and VDC although boundary of watershed area may be otherwise.

Mid-level Technician and Motivator will assemble ward level CBWMPs and integrate them into a VDC level CBWMP, to support VDC in identifying its problems and planning for VDC level community resource management.

व.सं.स.ले मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकहरूको सहयोगमा सामुदायिक श्रोत कार्यशालाको परिणामलाई आधार मानी समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणाको तर्जुमा गर्ने छ ।

समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा वडाको भविष्यको उत्तम नमूना हुनेछ जसले श्रोतको वर्तमान अवस्था एवं व्यवस्थापनलाई आधार मानी भविष्यमा हुने सामुदायिक श्रोतको उत्तम अवस्थालाई उद्घृत गर्नेछ (अनुसूची ४ हेर्नुस्) ।

स्थानिय स्वायत्त निकायसंगको समन्वयलाई ध्यानमा राखी समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणाको क्षेत्रीय सीमा वडा एवं गा.वि.स.संगको सीमासंग मेल खाने छ यद्यपि जलाधार क्षेत्रको सीमा फरक हुन सक्नेछ ।

मध्यम स्तरिय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकले वडा स्तरका समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणालाई एकीकृत गरी गा.वि.स. स्तरको समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा तर्जुमा गर्ने छन् । यसद्वारा गा.वि.स.लाई समस्या पहिचान र गा.वि.स. स्तरको सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनको योजना तर्जुमा गर्न मद्दत पुग्ने छ ।

6.10 CRMP formulation

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनाको तर्जुमा

Based on CBWMP with support from Mid-level Technician and Motivator, WCC will formulate CRMP from a standpoint of "specific activities for mid-term period of time (3 years) that will move them closer to their ideal state illustrated in CBWMP". In the process of CRMP formulation, harmonization and adjustment with consideration on middle/long term VDC development plan will be highly appreciated. Hence, representatives of VDC should join the process (see Annex 5).

The CRMP will include capacity building activities that are supported by the Project upon request from the people.

Furthermore, from the perspective of integrated community resource management, the CRMP may include activities that are not supported by the Project but are planned as self-help activities and/or supported by other government agencies/donors.

समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणालाई आधार मानी मध्यम स्तरीय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकको सहयोगमा व.सं.स.ले समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणामा उद्घृत गरिए वमोजिमको आदर्श अवस्था तिर लैजाने उद्देश्यले मध्यम कालिन (तिन-वर्ष) विषेश क्रियाकलाप भएको सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना निर्माण गर्ने छ । सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना तर्जुमाको प्रक्रियामा गा.वि.स.को मध्यम/दिर्घकालिन विकास योजनालाई ध्यानमा राखी सोही अनुरूप समायोजन र मिलान गरिने छ । त्यसैले गा.वि.स. प्रतिनिधिहरु यस प्रक्रियामा सामेल हुने छन् (अनुसूची ५ हेर्नुस्) ।

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा क्षमता अभिवृद्धि गर्ने कार्यक्रमहरु जनताको अनुरोधमा राखिने छ जसलाई आयोजनाले सहयोग गर्ने छ ।

यसका अतिरिक्त एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनको उद्देश्यलाई ध्यानमा राखी सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा यस्ता कार्यक्रम पनि समावेश गर्न सकिन्छ जसलाई आयोजनाको सहयोगमा नभई अन्य सरकारी/दातृ संस्था अथवा समुदायको आफ्नै सहयोगमा संचालन गरिने छ ।

मध्यम स्तरीय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकको उपयुक्त सल्लाह एवं पावर समुहको प्रतिनिधिको विचारलाई आधार मानी व.सं.स.ले पावर कार्यक्रम अन्तर्गतका सह-योजना तर्जुमा गर्ने छ ।

6.11 Adjustment of CRMP

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनाको समायोजन

After the formulation of CRMP at Ward,

- Mid-level Technician and Motivator and WCC of each Ward will present to VDC both CBWMP and CRMP, and provide necessary explanation,
- The Project H.Q. will then present those CBWMP and CRMP to DDC, and provide necessary explanation,

With the objective that such information will support VDC and DDC in allocating budget, submitting request to line agencies and/or donors, and in adjusting their own plans prepared at VDC and DDC.

वार्ड स्तरमा सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनाको निर्माण पछि

- मध्यम स्तरीय प्राविधिक, उत्प्रेरक र प्रत्येक वडाको व.सं.स.ले गा.वि.स.लाई आवश्यक व्याख्या सहित समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा र सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना प्रस्तुत गर्ने छन् ।
- आयोजना मुख्य कार्यालयले त्यस पश्चात ति समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा र सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना, जि.वि.स.लाई आवश्यक व्याख्या सहित प्रस्तुत गर्नेछ ।

यस्ता सूचनाहरुले गा.वि.स. एवं जि.वि.स.लाई बजेट विनियोजना गर्न, अन्य दातृ संघ संस्थासंग सहयोगको लागि अनुरोध गर्न र गा.वि.स. एवं जि.वि.स.द्वारा बनाइएका योजनामा समायोजना गर्न मद्दत गर्छ भन्ने उद्देश्यले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना जि.वि.स. एवं गा.वि.स.लाई पनि बुझाइन्छ ।

6.12 Sub-project feasibility study/design/cost estimation

सह-योजनाको सम्भाव्यता अध्ययन/स्वरूप/लागत अनुमान

At the adjustment phase of CRMP, WCC will carry out feasibility study, environmental impact assessment, basic cost estimation and necessary designing of each sub-project, with support from Mid-level Technician.

MD Team will assist these activities as needs arise (see Annex 16).

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनाको समायोजन कालमा व.सं.स.ले सह-योजनाको सम्भाव्यता अध्ययन, त्यसको वातावरणीय प्रभावको पहिचान, अनुमानित लागत एवं आवश्यक स्वरूप निर्धारण कार्य मध्यम स्तरीय प्राविधिकको सहयोगमा सम्पन्न गर्ने छ । एम/डी टिमले आवश्यकता अनुसार यि क्रियाकलापमा सहयोग गर्ने छ । (अनुसूची १६ हेर्नुस्) ।

WCC may revise CRMP where appropriate, with advice given by Mid-level Technician. In cases where there is no adjustment made in CRMP, approval/disapproval for support will be discussed at a monthly meeting.

व.सं.स.ले मध्यम स्तरीय प्राविधिकको सल्लाहले आवश्यक भएमा सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा पुनर्विचार गर्न सक्ने छ । सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा समायोजनको आवश्यकता नभएमा सहयोगको निमित्त स्विकृती/अस्विकृतीका लागि मासिक बैठकमा छलफल गरिनेछ ।

6.13 AAP formulation

वार्षिक कार्य योजनाको तर्जुमा

Based on CRMP with advice given by Mid-level Technician, WCC will form AAP and determine when to start the plan (see Annex 6).

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनालाई आधार मानेर एवं मध्यम स्तरीय प्राविधिकको सल्लाह अनुसार व.सं.स.ले वार्षिक कार्य योजना तर्जुमा गर्ने र यसको कार्यान्वयन प्रारम्भ गर्ने मिति निर्धारण गर्नेछ (अनुसूची ६ हेर्नुस्) ।

Since AAP is a specific as well as practical action plan for the year, and it is necessary to estimate total community resource, which can be mobilized within that year, it will record,

वार्षिक कार्य योजना सुस्पष्ट (निश्चित) एवं निर्धारित वर्षको लागि प्रयोगात्मक कार्य योजना हुने हुनाले त्यस वर्ष भित्र परिचालन गर्न सकिने कूल सामुदायिक श्रोतहरूको अनुमान गर्न आवश्यक हुन्छ । यसले :

- Sub-projects supported by the Project (including training and study tour planned by WCC), and आयोजनाद्वारा मद्दत गरिने सह-योजना (व.सं.स.द्वारा योजना गरेको तालिम एवं अध्ययन भ्रमण लगायत)
- Confirmed (but out of the Project) activities that will be implemented by self-help, and/or support from line agencies and/or donors.

सुनिश्चित (तर आयोजना भन्दा बाहिरका) क्रियाकलापहरू जुन समुदाय आफै र/वा सरकारी संघ संस्था एवं अन्य दातृ संस्थाको सहयोगमा कार्यान्वयन गरिने ।

At the same time, with advice given by Mid-level Technician and Motivator, WCC will form a UG for each sub-project as an implementing body for the sub-project.

यसै समयमा मध्यम स्तरीय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकहरूको सल्लाह अनुसार व.सं.स.ले प्रत्येक सह-योजनाको लागि एउटा उपभोक्ता समुहको गठन गर्ने छ जसले सह-योजनाको कार्यान्वयन गर्ने निकायको रूपमा काम गर्ने छ ।

WCC may add representatives of those UGs into WCC: in this case, due consideration should be paid for the gender balance of the additional members. It is also acceptable that an existing member of WCC becomes a representative of the UG concurrently.

व.सं.स.ले उपभोक्ता समुहका प्रतिनिधिहरूलाई व.सं.स.मा सामेल गराउन सक्ने छ । यस्तो अवस्थामा थपिएका सदस्यहरूको संख्यामा लैङ्गिक सन्तुलनको विषयमा आवश्यक ध्यान पुऱ्याइने छ । व.सं.स.मा रहेको कुनै सदस्य आवश्यक मिलान सहित उपभोक्ता समुहको प्रतिनिधिको रूपमा पनि स्वीकार्य हुनेछ ।

Since WCC will administer all the activities of the Project at ward level, in principle, the Project will not make direct contact with the UG.

व.सं.स.ले वडा स्तरीय सम्पूर्ण क्रियाकलापहरू संचालन गर्ने हुनाले सैद्धान्तिक रूपमा आयोजनाले उपभोक्ता समुहसंग प्रत्यक्ष सम्पर्क कायम गर्ने छैन ।

6.14 CRMP/AAP approval

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना/वार्षिक कार्य योजनाको स्विकृती

The Project H.Q. will examine and approve modified CRMP and AAP that will be submitted through Mid-level Technician. Once the AAP is approved, further changes will not be accepted for the rest of the fiscal year.

मध्यम स्तरीय प्राविधिक मार्फत बुझाइएको परिमार्जित सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनाको जाँच एवं स्विकृतिको कार्य आयोजना मुख्य कार्यालयले गर्नेछ । एक पटक वार्षिक कार्य योजना स्विकृत भै सके पछि बाँकी आर्थिक वर्षको लागि थप सुधार/परिमार्जन स्विकार्य हुने छैन ।

When considered necessary, the Project H.Q. will provide advice on revisions of the plan prior to the approval, through Mid-level Technician.

यदि आवश्यक भएमा मध्यम स्तरीय प्राविधिक मार्फत आयोजना मुख्य कार्यालयले स्विकृत प्रदान गर्नु आगावै योजनाको सुधारका लागि सुझाव उपलब्ध गराउने छ ।

The Project H.Q. will finalize the amount of support for the first year, based on cost estimate of sub-projects in AAP.

आयोजना मुख्य कार्यालयले वार्षिक कार्य योजना अन्तर्गत सह-योजनाको लागत अनुमानको आधारमा प्रथम वर्षको लागि दिइने सहयोग रकमका सम्बन्धमा अन्तिम निर्णय गर्नेछ ।

6.15 Agreement/Contract between the Project and WCC

आयोजना र व.सं.स.को विच सम्झौता

After the approval of CRMP and AAP, the Project and WCC will exchange agreement of overall ward based Project activity described in CRMP (see Annex 15.1). Then, the Project and WCC will enter into contract of sub-project implementation of the year. The contract will be separated for each sub-project; however, it is possible to enter into several contracts simultaneously under the approval of the Project H.Q.(see Annex 15.2).

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनाको स्विकृति पश्चात आयोजना र व.सं.स.ले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा उल्लेखीत सम्पूर्ण वडा स्तरीय आयोजनाका क्रियाकलापहरूको सन्दर्भमा सम्झौता गर्ने छन् (अनुसूची १५.१ हेर्नुस्) । त्यस पछि आयोजना र व.सं.स. विच सह-योजना कार्यान्वयन गर्ने सम्बन्धमा सम्झौता हुनेछ । प्रत्येक सह-योजनाको लागि अलग-अलग सम्झौता गरिनेछ । आयोजना मुख्य कार्यालयको स्वीकृतीमा विभिन्न सह-योजनाको सम्बन्धमा एकै चोटी सम्झौता गर्न पनि सकिनेछ (अनुसूची १५.२ हेर्नुस्) ।

If conclusion of the agreement is delayed beyond 15, December 2001 and beyond 15 June 2002, budget reduction will apply as described in "7. Budget reduction" and agreement conclusion after 15, December 2002, "8. Termination of activity" will apply and the agreement will be terminated.

यदि सम्झौता हुन १५ डिसेम्बर २००१ एवं १५ जुन २००२ भन्दा विलम्ब भएमा यसै निर्देशिकाको ७ मा भनिए वमोजिम बजेट कटौतिको नियम लागु हुनेछ । यदि १५ डिसेम्बर २००२ सम्म पनि सम्झौता सम्पन्न हुन नसकेमा यसै निर्देशिकाको ८ मा उल्लेख भए वमोजिम "सम्झौताको अन्त्य" नियम लागु हुनेछ र सम्झौता अन्त्य हुनेछ ।

6.16 Delegation of Authority for Supervision and Inspection

निरिक्षण एवं सुपरिवेक्षणको निमित्त अधिकार प्रत्यायोजन

The Project will delegate authority to Kaski and Parbat DSCO respectively for supervision and inspection of sub-project. The Project H.Q. will examine inspection report to be submitted from DSCO (see Annex 17).

आयोजनाले सह-योजना कार्यान्वयनको निरिक्षण एवं सुपरिवेक्षण गर्ने अधिकार जिल्ला भू संरक्षण कार्यालय कास्की एवं पर्वतलाई प्रदान गर्नेछ । आयोजना मुख्य कार्यालयले जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालयद्वारा बुझाइने निरिक्षण प्रतिवेदनको जाँच गर्ने छ (अनुसूची १७ हेर्नुस्) ।

6.17 Sub-project implementation

सह-योजना कार्यान्वयन

After the contract between the Project and WCC is concluded, each UG will implement sub-project, under administration by WCC. WCC should be responsible for the implementation of sub-projects, and the Project will support those activities based on the contract (see Annex 11).

आयोजना र व.सं.स.को विचमा सम्झौता सम्पन्न भए पछि प्रत्येक उपभोक्ता समूहले व.सं.स.क. निगरानीमा सह-योजना कार्यान्वयन गर्ने छ । व.सं.स. सह-योजना कार्यान्वयनको लागि उत्तरदायी हुनेछ । आयोजनाले सम्झौताको आधारमा ति क्रियाकलापलाई सहयोग गर्नेछ (अनुसूची ११ हेर्नुम्) ।

The Project will provide supporting budget in accordance with the contract. WCC utilizes the budget for the sub-project. WCC should be responsible for necessary accounting; and WCC should keep documentary evidence such as receipt of purchased materials and/or wage expenditure, at least until the end of the follow-up period.

आयोजनाले सम्झौताको आधारमा सहयोग रकम उपलब्ध गराउने छ । व.सं.स.ले सह-योजनाको लागि उपलब्ध रकमको सदुपयोग गर्ने छ । व.सं.स.ले सह-योजनाको आय व्यय विवरणको लागि लेखा राख्ने उत्तरदायित्व वहन गर्नेछ । व.सं.स.ले कम्तीमा अनुगमन अवधी सम्म सामान खरिद, ज्याला खर्च जस्ता कागजी विवरणहरू प्रमाणको रूपमा सुरक्षित राख्नु पर्नेछ ।

6.18 Monitoring and support

अनुगमन एवं सहयोग

In order to grasp output, progress, problems appropriately and effectively, The Project will monitor WCC and POWER Group activity/sub-project progress through the Project implementation procedure such as a monthly report, CRMP, AAP, agreement on CRMP and AAP, sub-project contract as well as field visit by field based MD team, Mid-level technician and Motivator.

प्रगती, परिणाम एवं समस्याहरूलाई प्रभावकारी र उचित तरिकाले अध्ययन गर्नका लागि आयोजनाले व.सं.स. तथा पावर समूहका क्रियाकलाप/सह-योजनाहरूको प्रगतिलाई आयोजना कार्यान्वयन प्रक्रिया मार्फत अनुगमन गर्नेछ । यस अर्न्तर्गत मासिक प्रतिवेदन, सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना, वार्षिक कार्य योजना, सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनाको सम्झौता, सह-योजनाको सम्झौताका साथै स्थलगत एम./डि. टिम, मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकद्वारा गरिने स्थलगत भ्रमण पर्दछन् ।

Monthly report will be submitted to the Project H.Q. by Mid-level Technician directly or Motivator and WCC indirectly. Mid-level Technician and Motivator will report the noteworthy situation of WCC activity and sub-project implementation in monthly report. This report will include minutes of meeting, activity progress including sub-project progress/ completion and concerning matters.

व.सं.स.ले उत्प्रेरकलाई, उत्प्रेरकले मध्यम स्तरिय प्राविधिकलाई र मध्यम स्तरिय प्राविधिकले आयोजना मुख कार्यालयलाई मासिक प्रतिवेदन बुझाउने छन् । मध्यम स्तरिय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकले व.सं.स. क्रियाकलाप उल्लेखिय अवस्थाहरू एवं सह-योजना कार्यान्वयनका बारेमा मासिक प्रतिवेदनमा जानकारी दिने छन् । यो प्रतिवेदनमा बैठकमा गरिएका निर्णयहरू, सह-योजना प्रगति/समाप्ती र अन्य सम्बन्धित विषय वस्तु समावेश गरिने छ ।

In addition, grading of WCC and POWER Group will be done through monitoring. यस बाहेक अनुगमन मार्फत व.सं.स. र पावर समूहको स्तरिकरणको कार्य समेत गरिनेछ ।

6.18.1 Monitoring for WCC / Overall Activity

व.सं.स.एवं सम्पूर्ण क्रियाकलापको अनुगमन

WCC activity progress will be monitored through the followings:

निम्न प्रक्रियाद्वारा व.सं.स.का क्रियाकलापहरूको प्रगति अनुगमन गरिने छ :-

- Agreement between the Project and WCC on CRMP/AAP

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनाका सम्बन्धमा व.सं.स. र आयोजनाको बीच सम्झौता

- Contract between the Project and WCC on sub-project
आयोजना र व.सं.स. बीच सह-योजनाको सम्झौता
- Minutes of meeting, sub-project progress/ completion to be reported to the Project H.Q. in Monthly Report
मासिक प्रतिवेदनका रूपमा आयोजना मुख्य कार्यालयलाई बुझाउने बैठकका निर्णय, सह-योजनाको प्रगति एवं सम्पन्नता विवरण
- Attendance of WCC meeting
व.सं.स.को बैठकमा उपस्थिति
- Pick up indicators at the stage of WCC formation and the Project phase out for comparison to grasp their empowerment, group sustainability and so on
व.सं.स.को गठन एवं आयोजनाको समाप्तीको बेला सशक्तीकरण, समुहको दिगोपन इत्यादिको तुलनाको लागी सूचकहरूको निर्धारण एवं संकलन
- Pick up indicators before and after sub-project implementation for comparison to grasp mainly cost-benefit of the sub-project
सह-योजना कार्यान्वयन अघि एवं पश्चात त्यसको लागत/लाभको तुलना गर्न आवश्यक सूचक निर्धारण

6.18.2 Monitoring for Sub-project Implementation

सह-योजना कार्यान्वयनको अनुगमन

Mid-level Technician will monitor sub-projects, and give advice to WCC, where appropriate. MD Team will support Mid-level Technician and Motivator, and depending on the needs, may provide technical support directly to WCC and/or UG (see Annex 19).

मध्यम स्तरिय प्राविधिकले सह-योजनाको अनुगमन एवं आवश्यक परेमा व.सं.स.लाई सल्लाह दिने छन् । एम/डी टिमले मध्यम स्तरिय प्राविधिक एवं उत्प्रेरकलाई सहयोग गर्ने छ र आवश्यकता अनुसार व.सं.स. र /अथवा उपभोक्ता समुहलाई प्रत्यक्ष प्राविधिक सहयोग पुर्याउने छ (अनुसूची १९ हेर्नुस्) ।

Mid-level Technician will inspect the completion of sub-project. MD Team will assist the inspection depending on the needs.

मध्यम स्तरिय प्राविधिकले सह-योजना सम्पन्नताको निरीक्षण गर्ने छन् । एम/डी टिमले निरीक्षण कार्यमा आवश्यकता अनुसार सहयोग गर्ने छ ।

WCC will evaluate sub-project implemented by UG, and for special remarks, report them in minutes of meeting and submit it to Motivator. At the same time, WCC will carry out self-evaluation of its activity and report it to the Project after completion of the AAP term in monthly report.

व.सं.स.ले उपभोक्ता समुहले कार्यान्वयन गरेका सह-योजनाहरूको मूल्याङ्कन गर्नेछ र विशेष टिप्पणीको लागी बैठकको निर्णयमा उल्लेख गरी उत्प्रेरकलाई बुझाउने छ । त्यसै बेला व.सं.स.ले आफ्ना क्रियाकलापहरूको स्व मूल्याङ्कन गरी वार्षिक कार्य योजनाको अवधि समाप्त भए पछि मासिक प्रतिवेदन माफत आयोजनालाई जानकारी दिने छ ।

Sub-project implementation will be monitored through the followings:

सह-योजना कार्यान्वयनको अनुगमन निम्न आधारमा गरिनेछ :

- Agreement between the Project and WCC on CRMP/AAP
सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना/वार्षिक कार्य योजना सम्बन्धमा व.सं.स. र आयोजना बीच सम्पन्न सम्झौता
- Contract between the Project and WCC on sub-project
सह-योजनाको सम्बन्धमा आयोजना र व.सं.स. बीच सम्पन्न सम्झौता
- Sub-project progress/ completion to be reported to the Project H.Q. in Monthly Report
सह-योजनाको प्रगति एवं सम्पन्नताको बारेमा आयोजना मुख्य कार्यालयलाई बुझाउने मासिक प्रतिवेदन
- Supervision and inspection of sub-project to be reported by Mid-level Technician

सह-योजनाको निरिक्षण/सुपरिवेक्षण गरी मध्यम स्तरिय प्राविधिकले बुझाउने प्रतिवेदन

6.19 Procedure of inspection and payment

निरिक्षण तथा भुक्तानी प्रक्रिया

When UG finish sub-project works for each payment conditions under administration of WCC, WCC will report account to UG and should obtain its approval. Then, WCC will submit account report (approval signatures by all the UG members must be attached) to Mid-level Technician. In response to the report from WCC, Mid-level Technician will inspect the sub-project. Then, the Project H.Q. will check the inspection report to be submitted by Mid-level Technician. When the sub-project work passes the inspection and the checking, payment for the work will be made by the Project H.Q.(see Annex 11)
Inspection report and copy of accounting book are respectively required to submit at each process as the following table:

Stage	Inspection report	Copy of Accounting Book
Initial	Necessary	Not necessary
Mid-term (2 nd)	Necessary	Necessary
Final	Necessary	Account Report

*Categories to be included in the inspection report should be referred to Annex 15.2.

उपभोक्ता समुहले व.सं.स.को मातहतमा संचालन गरेको सह-योजनाको काम सम्पन्न गरे पछि व.सं.स.ले उपभोक्ता समुहलाई लेखा विवरणको जानकारी उपलब्ध गराई त्यसको स्विकृती प्राप्त गर्नेछ। त्यस पछि व.सं.स.ले उपभोक्ता समुहका सबै सदस्यहरुको हस्ताक्षर सहित लेखा प्रतिवेदन मध्यम स्तरिय प्राविधिकलाई पेश गर्नेछ। व.सं.स.बाट प्रतिवेदन प्राप्त गरे पछि मध्यम स्तरिय प्राविधिकले सह-योजनाको निरिक्षण गरी निरिक्षण प्रतिवेदन आयोजना मुख्य कार्यालयलाई पेश गर्नेछ। त्यस पछि आयोजना मुख्य कार्यालयले प्राप्त निरिक्षण प्रतिवेदनको जाँच गर्नेछ। यसरी सह-योजनाको निरिक्षण र जाँचको काम पुरा भए पछि आयोजना मुख्य कार्यालयले कामका भुक्तानी दिनेछ (अनुसूची ११ हेर्नुस्)।

निम्न तालिका बमोजिम प्रत्येक पटक भुक्तानीको लागि आवश्यक निरिक्षण प्रतिवेदन र लेखा पुस्तिकाको प्रतिलिपी प्रस्तुत गर्नुपर्ने छ।

अवस्था	निरिक्षण प्रतिवेदन	लेखा पुस्तिकाको प्रतिलिपी
प्रारम्भिक	आवश्यक	आवश्यक छैन
मध्यवर्ती (दोस्रो)	आवश्यक	आवश्यक
अन्तिम	आवश्यक	लेखा प्रतिवेदन आवश्यक

* निरिक्षण प्रतिवेदनसंग सम्लग्न गर्नुपर्ने आवश्यक कागजातको विवरण अनुच्छेद १५.२ मा उल्लेख छ।

Payment condition will be different in accordance with contract between the Project and WCC. At the same time the number of payment and inspection time will also be stipulated in the contract accordingly too.

आयोजना र व.सं.स. बीचको सम्झौता अनुसार भुक्तानी शर्तहरु फरक फरक हुन सक्ने छन्। त्यही अनुरूप भुक्तानीको किस्ता र निरिक्षण समय पनि सम्झौतामा उल्लेख गरिनेछ।

Moreover, whenever payment is made by the Project H.Q., WCC will notify UG of the payment. After the payment is made by the Project H.Q. to WCC, the Project H.Q. will announce the achievement and supporting budget of the sub-project to the UG through Mid-Level Technician and Motivator.

यस बाहेक, आयोजना मुख्य कार्यालयले व.सं.स.लाई भुक्तानी दिए पछि व.सं.स.ले उपभोक्ता समुहलाई प्राप्त भुक्तानीको बारेमा जानकारी दिइनेछ। आयोजना मुख्य कार्यालयले मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरक मार्फत सह-योजनाको उपलब्धी एवं सहयोग बजेटको बारेमा उपभोक्त समुहलाई जानकारी दिनेछ।

When final inspection report is approved by the Project H.Q., the Project H.Q. will issue certificate of completion to WCC.

आयोजना मुख्य कार्यालयले अन्तिम निरिक्षण प्रतिवेदन स्विकृत गरे पछि व.सं.स.लाई सह-योजना सम्पन्नताको प्रमाण पत्र उपलब्ध गराउनेछ।

6.20 Public Information Act

सार्वजनिक सूचना कार्य

In order to secure transparency on the Project implementation among all of the concerning people, particularly between the Project and target VDC, the Project H.Q. provide necessary information such as sub-project, progress, supporting budget, account report and so on, with VDC office and each ward by putting up a notice from the Project H.Q. on VDC office and delivering it to each ward (see Annex 14).

आयोजनासंग सम्बन्धित सबै पक्षहरु, विशेष गरी आयोजना र लक्षित गा.वि.स.को बीच पारदर्शिता कायम गर्न आयोजना मुख्य कार्यालयले सह-योजना, प्रगति, सहयोग बजेट, लेखा विवरण, सम्बन्धी सूचनाहरु गा.वि.स. र प्रत्येक वडालाई उपलब्ध गराउनेछ । आयोजना मुख्य कार्यालयबाट प्राप्त सूचना गा.वि.स. कार्यालयमा टासिने छ र प्रत्येक वडालाई वितरण गरिने छ (अनुसूची १४ हेर्नुस्) ।

In addition, Mid-level Technician will inform VDC/WCC in each meeting of the same things mentioned above as crosschecking.

यसका अतिरिक्त, मध्यम स्तरीय प्राविधिकले उल्लेखित विषयहरु गा.वि.स. एवं व.सं.स.को प्रत्येक बैठकमा उपस्थित भई पुनः सूचित गर्ने छन् ।

Moreover, the Project will provide suggestion box at VDC office for strengthening information pipeline between the field and the Project H.Q. and effective problem shooting in terms with concerning matters on the Project.

फिल्ड र आयोजना मुख्य कार्यालयको बीचमा सूचना प्रवाह माध्यमलाई सुदृढ गर्ने एवं आयोजना सम्बन्धी समस्याको प्रभावकारी ढंगले समाधान गर्ने उद्देश्यले आयोजनाले प्रत्येक गा.वि.स.मा सुझाव पेटी राख्ने छ ।

6.21 Evaluation

मूल्याङ्कन

The Project H.Q. may audit accounting of WCC, when necessary.

आवश्यक भएमा आयोजना मुख्य कार्यालयले व.सं.स.को लेखा विवरणको लेखा परिक्षण गर्नेछ ।

Based on the results as mentioned above, the Project H.Q. will finalize and notify the total budget to be allocated for CRMP to each WCC.

उल्लेखित परिणामलाई आधार मानी आयोजना मुख्य कार्यालयले प्रत्येक व.सं.स.को सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनाको लागि छुट्याइने कुल बजेटको निर्धारण एवं त्यसको सूचना प्रदान गर्नेछ ।

For correction of inaccurate information on the number of household submitted at the time of WCC formation, WCC should file a correction report by this time. If false report is discovered after this point, it will be regarded as dishonest accounting described in "8.1 Termination of the activity".

यही समय सम्म व.सं.स.को स्थापनाको समयमा घरधुरीको सम्बन्धमा प्राप्त तथ्याङ्क त्रुटीपूर्ण एवं भ्रामक भएमा व.सं.स.ले त्यसलाई सच्याइ प्रतिवेदन पेश गर्नेछ । यसपछि पनि त्रुटी पत्ता लागेमा यसलाई गैर जिम्मेवार एवं भ्रामक तथ्याङ्कको रूपमा लिइनेछ र यसै निर्देशिकाको ८.१ मा उल्लेखित "क्रियाकलापहरुको अन्त्य" को अवस्था सिर्जना हुनेछ ।

6.22 Procedure for 2nd/3rd year

दोश्रो एवं तेस्रो वर्षको लागि कार्य प्रक्रिया

In the second and the third year, the Project activity will start from formulation of AAP, and will follow the same procedure.

दोश्रो एवं तेस्रो वर्षमा आयोजनाका क्रियाकलापहरु वार्षिक कार्य योजनाको तर्जुमा देखि शुरु हुनेछ र सोही प्रक्रिया अनुरूप कार्य सञ्चालन हुनेछ ।

It is acceptable to revise CBWMP and/or CRMP, when and where appropriate.

आवश्यक एवं उपयुक्त भएमा समुदायमा आधारित जलाधार व्यवस्थापन धारणा एवं सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजनामा परिमार्जन गर्न सकिनेछ ।

6.23 Follow-up

फलो अप

Regardless of when CRMP and/or AAP started, the end date of those plans will be set at 15 June 2004; hereafter, follow-up phase will start, and sub-project will not be implemented. All the sub-projects should be completed not later than the end date.

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजना प्रारम्भ भएको समय भिन्न भए पनि ति योजनाहरूको अन्तिम समय १५ जुन २००४ हुनेछ । त्यस पछि फलो अपको समय प्रारम्भ हुनेछ र सह-योजनाहरू कार्यान्वयन हुने छैनन् । सबै सह-योजनाहरू अन्तिम मिति सम्ममा सम्पन्न गरी सक्नु पर्नेछ ।

Even before 15 June 2004, follow-up phase will start from:

१५ जुन २००४ भन्दा पहिले पनि अनुगमन प्रारम्भ हुन सक्ने छ :-

- The end of the 3rd year, if the AAP started prior to 15 December 2001.
यदि वार्षिक कार्य योजना १५ डिसेम्बर २००१ भन्दा पहिले प्रारम्भ भएको छ भने तेश्रो वर्षको अन्त देखि,
- The end of the year for respective AAP, when the entire budget has been expensed in accordance with CRMP and AAP.

यदि सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजना अनुसार सम्पूर्ण बजेट खर्च भइसकेको छ भने सम्बन्धीत वार्षिक कार्य योजना वर्षको अन्त देखि ।

At the end of the Project, as a result of grading, an excellent WCC will be awarded by the Project, and receive study tours from other WCC. The Project will support the awarded WCC to prepare for the arrangement in receiving study tours.

आयोजनाको अन्तमा, मुल्याङ्कनको आधारमा उत्कृष्ट व.सं.स.लाई आयोजनाबाट पुरस्कृत गरिने छ र अन्य व.सं.स.हरूले यसको अध्यन भ्रमण गर्ने छन् । अन्य व.सं.स.द्वारा गरिने अध्यन भ्रमणको बन्दोबस्त मिलाउन उत्कृष्ट व.सं.स.लाई चाहिने सहयोग आयोजनाद्वारा उपलब्ध गराइने छ ।

Follow-up for POWER Group will be similarly conducted as in the case of WCC.

In follow-up phase, WCC will endeavor to sustain integrated community resource management without any support from the Project, based on the experience from the Project.

Mid-level Technician and Motivator will close the sub-project activities at the beginning of follow-up phase; thereafter only motivators will handle follow-up activity.

व.सं.स. जसरी नै पावर समुहको पनि फलो अप गरिनेछ । फलो अप चरणमा, व.सं.स.ले आयोजना मार्फत हासिल गरेको अनुभवको आधारमा एकिकृत सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापनलाई आयोजनाको सहयोग बिना नै दिगो बनाउन प्रयास गर्नेछ ।

फलो अप अवधी प्रारम्भ भए पछि मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकहरूले सह-योजनाका क्रियाकलापहरू बन्द गर्नेछन् र उत्प्रेरकहरूले फलो अप कार्य सम्हाल्ने छन् ।

7 Budget reduction

बजेट कटौती

The budget for WCC will be reduced from the budget ceiling described in "3.4. Budget," except for unavoidable cases caused by natural calamity and/or other irresistible forces. The Project H.Q. will make decisions regarding the reduction.

प्राकृतिक प्रकोप र/वा अन्य रोकन नसकिने तत्वहरूका कारण उत्पन्न अनिवार्य अवस्था बाहेक व.सं.स.को लागि छुट्टाएको बजेट "३.४ बजेट", सिमा बाट घटाइनेछ । कटौतीका सम्बन्धमा आयोजना मुख्य कार्यालयले निर्णय लिनेछ ।

7.1 Reduction caused by delay of agreement conclusion with WCC on activities based on CRMP and AAP

व.सं.स.संग सा.श्रो.व्य.यो. र वा.का.यो.मा आधारित क्रियाकलापहरूको वारेमा सम्झौता गर्न ढिलाईका कारण हुने बजेट कटौती

In the event of a delay beyond 15 December 2001 in agreement conclusion between WCC and the Project for activities stipulated in CRMP, with Project approval for CRMP and AAP already granted, 1/6 of the amount of the ceiling budget as described in "3.4 Budget" will be reduced. Moreover, in the event of a

delay of agreement conclusion with WCC on activities based on CRMP and AAP beyond 15 June 2002, 1/6 of total amount of the ceiling budget as described in "3.4 Budget" will be reduced again (see Annex 12).
 आयोजनाले सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना र वा.का.यो.लाई स्विकृत प्रदान गरी सकेको भएता पनि १५ डिसेम्बर २००१ सम्म पनि सा.श्रो.व्य.यो.मा उल्लेखित क्रियाकलापहरूका लागि व.सं.स. र आयोजना बीच सम्झौता सम्पन्न हुन नसकेमा "३.४ बजेट" शिर्षकमा व्याख्या गरिए अनुरूप व.सं.स.लाई छुट्याइएको कुल बजेट बाट १/६ भाग घटाइने छ । यस बाहेक, १५ जुन २००२ सम्म पनि उल्लेखित क्रियाकलापहरूका लागि सम्झौता सम्पन्न हुन नसकेमा छुट्याइएको कुल बजेटबाट थप १/६ भाग घटाइनेछ (अनुसूची १२ हेर्नुस्) ।

7.2 Reduction caused by default of contracted works

सम्झौता अनुसार काम नभएका कारण हुने बजेट कटौती

In the event that contracted sub-project is not completed by the contracted date, except for unavoidable cases caused by natural calamity and other irresistible forces, 1/10 of total amount of the ceiling budget as described in "3.4 Budget" will be reduced for each sub-project. At the same time, reduction for incomplete part will be taken (see Annex 12).

प्राकृतिक प्रकोप र अन्य रोक नसकिने तत्वहरूको कारण उत्पन्न अनिवार्य अवस्थाहरू बाहेक सम्झौतामा उल्लेखित मिति सम्ममा सह-योजना पुरा हुन नसकेको खण्डमा "३.४ बजेट" शिर्षकमा व्याख्या गरे अनुरूप व.सं.स.लाई छुट्याइएको कुल बजेट बाट प्रत्येक सह-योजना (पुरा नभएको सह-योजना)को लागि १/१० भाग घटाइनेछ । यस बाहेक पुरा हुन बाँकी कामको बजेट समेत घटाइने छ (अनुसूची १२ हेर्नुस्) ।

7.3 Exception for POWER Program

पावर कार्यक्रमको सम्बन्धमा विशेष व्यवस्था

Sub-project under POWER Program will be excluded from the reduction scheme, even in the case of default of contracted sub-project. However, reduction for incomplete part will be taken.

पावर कार्यक्रम अन्तर्गतका सह-योजनाहरूको काम सम्झौता अनुसार नभएता पनि तिनीहरूमा बजेट कटौती योजना (नियम) लागु हुने छैन तथापि अपूर्ण कार्यको लागि भने बजेट कटौती हुनेछ ।

8 Termination of the activity

क्रियाकलापहरूको अन्त्य

8.1 Termination of the activity

क्रियाकलापहरूको अन्त्य

The Project will terminate all support and activity for the WCC, and the Ward will be excluded from the target area when WCC can not conclude agreement with the Project for collaboration on the basis of approval of CRMP and AAP by 15 December 2002, or when dishonest accounting and/or improper accounting is identified, preventing judgment for the appropriateness of the use of funds (see Annex 12).

सामुदायिक श्रोत व्यवस्थापन योजना एवं वार्षिक कार्य योजनाको स्विकृतीको आधारमा व.सं.स.ले आयोजनासंग सम्झौता सम्पन्न गर्न १५ डिसेम्बर २००२ भन्दा ढिलाई गरेमा वा लेखा विवरण नियम संगत नराखेमा र/अथवा कोषको उचित प्रयोग गर्न बाट वंचित गर्न खोजिएमा आयोजनाले व.सं.स.का क्रियाकलापहरूलाई दिने सहयोग बन्द गर्नेछ र सम्बन्धीत वडालाई लक्षित क्षेत्रबाट हटाइने छ (अनुसूची १२ हेर्नुस्) ।

8.2 Exception for POWER program

पावर कार्यक्रमको सम्बन्धमा विशेष व्यवस्था

When dishonest accounting and/or improper accounting for sub-project conducted on Power group member's own responsibility, POWER program will be terminated immediately. However, other sub-projects under WCC can be implemented continuously and the allocated budget will not be reduced.

पावर समूहद्वारा संचालित सह-योजनाको लेखा विवरण पावर समूह कै सदस्यको उत्तरदायित्वमा राखिएको

अवस्थामा नियम संगत नभएको वा गैर जिम्मेवार पूर्ण पाइएमा पावर कार्यक्रम तत्काल बन्द गरिनेछ । तर व.सं.स.को मातहतमा संचालित अन्य सह-योजनाहरु नियमित रूपले संचालन गरिनेछन् र छुट्याइएको बजेटमा कटौती गरिने छैन ।

9 Amendment संशोधन

This Guideline may be amended in the Project Monthly Meeting.

However, amendments regarding the principle concepts will be made upon hearing from Project Management Committee.

आवश्यकता अनुसार आयोजनाको मासिक बैठकमा यो निर्देशिका संशोधन गर्न सकिनेछ । तैपनि आधारभूत अवधारणको सम्बन्धमा आयोजना व्यवस्थापन समितीको राय अनुसार मात्र संशोधन गरिने छ ।

10 Special note on security सुरक्षा सम्बन्धमा विशेष ध्यान

The Project will suspend all the activity in VDC/Ward immediately when following dangerous situation arises Area and duration of the above-mentioned suspension will be determined by consultation among DSCC Kaski, DSCO Parbat, JICA chief adviser and JOCV chief adviser. If the consultation fails to reach agreement, the largest coverage for the area and longest suspension period suggested will be adopted.

आयोजनाले निम्न लिखित खतरनाक एवं जोखिम पूर्ण अवस्था उत्पन्न भएमा गा.वि.स./वडामा संचालित कार्यक्रमहरु तत्काल स्थगित गर्नेछ ।

माथि उल्लेखित स्थगनको अवधि र क्षेत्र जिल्ला भू संरक्षण कार्यालय कास्की र पर्वत, जाइका/जे.ओ.सी.भी. मुख्य सल्लाहकारहरुको बीचमा परामर्श गरी निर्धारण गरिनेछ । यदि परामर्श/छलफल सहमतिमा पुग्न नसकेमा प्रस्तावित क्षेत्र एवं अवधि मध्ये सर्वाधिकलाई मान्यता दिइनेछ ।

The suspension taken by this measures may cause budget reduction.

उल्लेखित कारणले कार्यक्रम स्थगित भएमा बजेट कटौती हुन सक्ने छ ।

10.1 In the event that Mid-level Technician will judge the situation dangerous मध्यम स्तरिय प्राविधिकले स्थिती खतरनाक भएको ठहर गरेमा

Subjective judgment is considered sufficient; objective evidence and/or reason are not required.

विषयगत मुल्याङ्कलाई पर्याप्त मानिनेछ, वस्तुपरक प्रमाण र/अथवा कारणहरु आवश्यक हुने छैन ।

10.2 In the event that one of the following incidents occur निम्न मध्ये कुनै एक घटना घटेको अवस्थामा

(Irrespective of political intention)

(राजनैतिक पूर्वाग्रहको निरपेक्षतामा)

- Injury incident against Mid-level Technician, Motivator or other project staffs
मध्यम स्तरिय प्राविधिक, उत्प्रेरक अथवा आयोजनाका अन्य कर्मचारीहरुलाई घाइते तुल्याइएमा
- Damage incident against facility or equipment of the Project
आयोजनाका उपकरण अथवा सुविधाका साधनहरुलाई नोक्सान पुऱ्याएमा
- Direct/indirect threat/demonstration against Mid-level Technician or Motivator or other project staffs
मध्यम स्तरिय प्राविधिक, उत्प्रेरक अथवा आयोजनाका अन्य कर्मचारीहरु विरुद्ध प्रत्यक्ष/अप्रत्यक्ष धम्की/पर्दशन भएमा
- Injury/damage incident occurred in connection with the Project to the concerned people of the Project such as VDC chairperson, Ward chairperson, Ward Conservation Committee
आयोजनाको सिलसिलामा गा.वि.स. अध्यक्ष, वडा अध्यक्ष एवं व.सं.स. जस्ता आयोजनासंग सम्बन्धीर्य व्यक्ति उपर घाइते/नोक्सानीका घटनाहरु घटेमा
- Direct/indirect threat/demonstration, occurred in connection with the Project to the concerned people of the Project, such as VDC chairperson, Ward chairperson, Ward Conservation Committee

आयोजनाको सिलसिलामा गा.वि.स. अध्यक्ष, वडा अध्यक्ष एवं व.सं.स. जस्ता आयोजनासंग सम्बन्धीत व्यक्ति उपर प्रत्यक्ष/अप्रत्यक्ष धम्की/प्रदर्शनका घटना देखा परेमा

10.3 In the event, that one of DSCO Kaski, DSCO Parbat, JICA chief adviser and JOCV chief adviser will judge the situation dangerous.

जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालय कास्की, जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालय पर्वत, जाइका एवं जे.ओ.सी.भी.का प्रमुख सल्लाहकारहरु मध्ये कुनै एक जनालाई अवस्था खतरनाक छ भन्ने लागेमा :

It may be a judgment based on the information from Mid-level Technician, Motivator and/or other information. Consensus among DSCO Kaski, DSCO Parbat, JICA Chief Adviser and JOCV Chief Adviser is not required.

मध्यम स्तरिय प्राविधिक र उत्प्रेरकबाट प्राप्त जानकारी वा अन्य सूचनाको आधारमा यो निर्णय हुन सक्नेछ । यस्तो अवस्थामा जिल्ला भू-संरक्षण कार्यालय कास्की र पर्वत, जाइका एवं जे.ओ.सी.भी.का प्रमुख सल्लाहकारहरुको विच सहमति आवश्यक पर्ने छैन ।

収集資料一覧

- 1) 英文 SABIHAA プロジェクト紹介パンフレット (改定版)
- 2) ポカラ・カトマンズ地図
- 3) Operational Guideline Ver.2
- 4) Operational Guideline Annex Ver.2
- 5) 合同調整委員会資料
- 6) 運営指導調査団資料

プロジェクト概要

プロジェクト対象地域地図

主要略語・用語集

ネパールにおける地方行政組織等の概要

C/P 機関 組織図

DSCWM の C/P 等配置状況

プロジェクト組織図

専門家の業務分担

プロジェクトスタッフ一覧

プロジェクト活動の概要

プロジェクト基本スキーム

標準的実施スケジュール

WCC の構成と役割

村落における計画立案の流れ

計画立案から事業実施までのフローチャート

事業 (サブ・プロジェクト) 実施フローチャート

事業実施に係る情報の流れ

WCC 活動のモニタリング

POWER グループ形成フローチャート

POWER グループ活動の標準パターン

参考資料

DSCWM の主なドナー

第1フェイズと第2フェイズの主な相違点

第2フェイズ当初との主な相違点

- 7) ネパールにおける PRSP 作成への動き
- 8) UNDP, "Participatory District Development Programme NPC/MLD/UNDP Nep/95/008", No.10, July 2000.
- 9) HMG, UNDP, NORAD, "PDDP putting people first...".